

平成 22 年度

和歌山県立高等学校入学者選抜実施要項

和歌山県教育委員会

目 次

I 平成22年度和歌山県立高等学校入学者選抜（全日制課程・定時制課程）実施要項

第1 一般選抜

1	出願資格	1
2	学科（コース）及び募集定員	1
3	志願校	1
4	出願受付期間	1
5	出願手続	2
6	調査書等の作成	4
7	書類の審査	4
8	学力検査等	4
9	定時制の課程における成人特別措置	6
10	入学者の選抜	6
11	合格者の発表	8
12	入学資格認定検査	8
13	実施上の留意事項	8

第2 スポーツ推薦

1	出願資格	9
2	スポーツ推薦入学者数	9
3	志願校	9
4	出願受付期間	9
5	出願手続	9
6	学力検査等	10
7	入学者の選抜	11
8	合格者の発表	11
9	実施上の留意事項	11
10	その他の事項	12

第3 特別選抜

1	出願資格	12
2	特別選抜入学者数	12
3	出願受付期間	12
4	出願手続	12
5	入学者の選抜	13
6	合格内定の通知	13
7	実施上の留意事項	13

第4 追募集

第5 再学力検査

別記様式（第1号様式～第14号様式） 17～31

別記申告書様式（第1号様式～第5号様式） 32～36

II	平成22年度和歌山県立高等学校入学者選抜（通信制課程）実施要項	
1	設置校	37
2	出願資格	37
3	出願者	37
4	出願受付期間	37
5	出願手続	38
6	入学者の選抜	38
7	合格者の発表	38
8	入学資格認定検査	38
9	その他	38
	別記様式（第1号様式～第3号様式）	39～41
III	平成22年度和歌山県立高等学校入学志願者調査書等の作成について	
1	調査書の作成	42
2	生徒成績一覧表の作成	43
IV	他の都道府県からの高等学校入学志願者等に関する手続について	
1	他の都道府県から和歌山県立高等学校を志願する者の手続について	45
2	海外から和歌山県立高等学校を志願する者の手続について	46
3	他府県の公立高等学校を志願する者の手続について	46
4	留意事項	46
	別表	47
	別記様式（第1号様式、第2号様式）	48～50
V	和歌山県立高等学校入学者選抜学力検査等に係る帰国生徒取扱い要綱	
1	定義	51
2	取扱い	51
3	対象者	51
	別記様式（第1号様式、第2号様式）	52～53
VI	和歌山県立高等学校入学者選抜学力検査得点の簡易開示について	54
VII	別表	
別表1	平成22年度和歌山県立高等学校入学者選抜選考基準	55～61
別表2	平成22年度和歌山県立高等学校入学者選抜の面接・実技検査等	62～66
別表3	平成22年度和歌山県立高等学校入学者選抜のスポーツ推薦実施校及び指定競技スポーツ等	67
別表4	平成22年度和歌山県立高等学校入学者選抜のスポーツ推薦出願条件	68～69
別表5	平成22年度和歌山県立高等学校入学者選抜のスポーツ推薦におけるスポーツ実技検査等	70～73
別表6	平成22年度連携型中高一貫教育校の特別選抜実施方法等	74
別表7	平成22年度和歌山県立高等学校入学者選抜の学校別実施概要（追募集）	75～76
〈付〉	平成22年度和歌山県立高等学校入学者選抜日程表等	77～79

I 平成22年度和歌山県立高等学校入学者選抜 (全日制課程・定時制課程) 実施要項

第1 一般選抜

一般選抜は、入学者選抜を実施する募集定員を定めたすべての学科（募集定員を定めたコース（以下「コース」という。）を含む。）で実施する。

なお、各校の実施内容については、「平成22年度和歌山県立高等学校入学者選抜選考基準」（以下「選抜選考基準」という。）（別表1）のとおりとする。

1 出願資格

出願することができる者は、次のいずれかに該当するものとする。

- (1) 中学校又はこれに準ずる学校（以下「中学校」という。）を卒業又は平成22年3月卒業見込みの者
- (2) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第95条の規定により、中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

2 学科（コース）及び募集定員

学科（コース）及び募集定員は、別に定める。

3 志願校

- (1) 志願者は、一般選抜を実施するすべての学校・学科（コース）を志願することができる。ただし、出願は1校1課程1学科（コース）に限る。
- (2) 志願者は、同一校、同一課程に限り、第1志望として出願した学科（コース）等以外の学科（コース）等を第2志望として出願することができる。また、単位制による定時制課程への志願者は、同一校において、昼間の定時制課程と夜間の定時制課程のいずれかを第2志望として出願することができる。

4 出願受付期間

一般出願及び本出願の受付は、次のとおりとし、それぞれ志願先の高等学校で受け付ける。ただし、全日制課程の分校に出願する者はそれぞれの分校で受け付ける。また、海南高等学校の海南校舎及び大成校舎並びに串本古座高等学校の串本校舎及び古座校舎に出願する者は、それぞれの校舎で受け付ける。

一般出願	平成22年2月22日（月）	午前9時から午後4時まで
	平成22年2月23日（火）	午前9時から午後3時まで
本出願	平成22年3月2日（火）	午前9時から午後4時まで
	平成22年3月3日（水）	午前9時から午後3時まで

郵送の場合は、「書留」とし、一般出願は平成22年2月18日（木）から2月22日（月）までの消印のあるもの、本出願は平成22年2月26日（金）から3月2日（火）までの消印のあるものに限る（受検票等の返信用封筒と切手を同封）。

なお、郵送の場合は、志願先の高等学校長へあらかじめ電話連絡すること。

5 出願手続

(1) 一般出願

ア 志願者の手続

入学志願者は、次の書類等を在学又は出身校の中学校長に提出すること。ただし、中学校在学及び卒業の者以外の志願者については、次の書類のほか、高等学校入学資格を証する書類を添付し、直接、志願先の高等学校長に提出すること。

なお、他の都道府県から和歌山県立高等学校を志願する場合は、「Ⅳ 他の都道府県からの高等学校入学志願者等に関する手続について」による。

(ア) 入学願（別記第1号様式）

(イ) 受検票（別記第2号様式）

(ウ) 申告書

貴志川高等学校人間科学科、和歌山北高等学校体育科、和歌山高等学校、箕島高等学校普通科（スポーツコース）、日高高等学校中津分校のいずれかの学校を志願する者のみ提出すること。

貴志川高等学校人間科学科（別記申告書第1号様式）

和歌山北高等学校体育科（別記申告書第2号様式）

和歌山高等学校（別記申告書第3号様式）

箕島高等学校普通科（スポーツコース）（別記申告書第4号様式）

日高高等学校中津分校（別記申告書第5号様式）

(エ) 入学考查手数料

本出願時に、入学願の所定の欄に、和歌山県証紙（全日制課程 2,200 円、定時制課程 950 円）をはることに。

イ 中学校長の手続

中学校長は、第5項第1号アの書類の記載事項に誤りのないことを確かめ、平成22年2月22日（月）から平成22年2月23日（火）午後3時までに、一般出願者報告書（別記第3号様式）を、学校・課程・学科（コース）別に志願先の高等学校長に（全日制課程の分校については、それぞれの分校に、海南高等学校の海南校舎及び大成校舎並びに串本古座高等学校の串本校舎及び古座校舎については、それぞれの校舎に）提出すること。

ウ 高等学校長の手続

高等学校長は、中学校長から提出された一般出願者報告書により志願状況（中学校在学及び卒業の者以外の志願者も含める。）を課程・学科（コース）等別に集計し、別途指定する方法で（県）学校教育局学校指導課長に報告すること。

エ 注意事項

(ア) 第3項第2号により志願する者は、入学願の「志願学科（コース等）」の欄に志望順位別に学科（コース）名等を、定時制課程については昼間、夜間の別も記入すること。

(イ) 平成22年3月中学校卒業見込みの者以外の志願者は、入学願の「卒業後の状況」の欄に最終学校卒業後の履歴等を記入すること。

(ウ) 全日制課程の分校への志願者はその出願先の分校名を、海南高等学校の海南校舎及び大成校舎並びに串本古座高等学校の串本校舎及び古座校舎への志願者は、その出願先の校舎名を

受検票の「受検場所」の欄に記入すること。

オ 志願状況の発表

(ア) (県) 学校教育局学校指導課、各市町村教育委員会において、一般出願に係る志願状況一覧表を平成 22 年 2 月 24 日 (水) 午前 9 時に掲示する。

なお、掲示場所については、(県) 学校教育局学校指導課、各市町村教育委員会に問い合わせること。

(イ) 中学校には、各市町村教育委員会を通じ、中学校長に通知する。

(2) 志願先の変更

ア 志願者は、本出願にあたって、一般出願の際に提出した志願先の学校や学科(コース)等を、1 回に限り変更することができる(同一校における学科(コース)等を変更しようとする者及び第 2 志望を変更しようとする者も含む)。

イ 志願先を変更しようとする者は、次の(ア)～(ウ)の変更手続を行うこと。

(ア) 中学校長に申し出て、入学願と受検票の返却を受ける。

(イ) 入学願と受検票を新たに作成する。

(ウ) 入学願と受検票を中学校長に再提出する。

なお、第 5 項第 1 号アのただし書きに該当する者については、平成 22 年 2 月 24 日 (水) から平成 22 年 3 月 1 日 (月) まで(午前 9 時から午後 4 時まで)に、一般出願時に書類を提出した高等学校長に願い出て指示を受けること。

(3) 本出願

ア 志願者の手続

(ア) 志願者は、志願先の変更手続をした場合を除き、一般出願の際に提出した志願先の学校・学科(コース)等以外に本出願をすることができない。

(イ) 一家転住などやむを得ない事情で一般出願できなかった志願者は、その理由を入学願の裏面に記載し、受検票とともに中学校長に提出すること。

(ウ) 第 5 項第 1 号アのただし書きに該当する者で志願先変更をした者は、第 5 項第 1 号アに準じ、書類を直接志願先の高等学校長に提出すること。

イ 中学校長の手続

中学校長は、志願者から提出された書類の記載事項に誤りのないことと、入学願の所定の欄に、和歌山県証紙(全日制課程 2,200 円、定時制課程 950 円)がはられていることを確かめるとともに、志願者に係る次の書類を作成し、一括して志願先の高等学校長に提出すること。

(ア) 平成 22 年度和歌山県立高等学校入学志願者調査書(別記第 4 号様式。以下「調査書」という。)

平成 16 年 3 月以前の中学校卒業生については、調査書に代えて中学校卒業証明書を提出すること。

(イ) 生徒成績一覧表(別記第 5 号様式)

第 3 学年の生徒全員について学級単位で生徒成績一覧表を作成し、志願先高等学校の学科(コース)等ごとに 1 部ずつ提出すること。ただし、平成 22 年 3 月中学卒業見込みの者以外の出願者については、これを省略することができる。

(ウ) 副申書（別記第 6 号様式）

調査書の「欠席等の状況」及び「健康の状況に関する特記事項」等並びに調査書に記載されていないその他の事項について、特別の事情のある場合は、中学校長は副申書を提出することができる。

(エ) 学力検査等特別措置願（別記第 7 号様式）

聴覚等に障害のある志願者で、学力検査等において特別の措置を必要とする場合、志願先の高等学校長に提出すること。

ウ 高等学校長の手続

(ア) 高等学校長は、提出された書類を確認し、受け付けるとともに、提出された受検票に受検番号を付して、当該中学校長を通じ、又は直接、出願者に交付すること。

(イ) 高等学校長は、志願状況を課程・学科（コース）等別に集計し、別途指定する方法で（県）学校教育局学校指導課長に報告すること。

(ウ) 高等学校長は、提出された学力検査等特別措置願の写しを（県）教育長に提出し、協議のうえ、適切な措置を講じること。

6 調査書等の作成

(1) 調査書等作成委員会

中学校長は、調査書、生徒成績一覧表、副申書等の作成にあたっては、厳正、公平かつ適正を期するため、調査書等作成委員会を組織し、その審議を経るものとする。

(2) 調査書等の作成

調査書等の具体的な作成要領は、「Ⅲ 平成 22 年度和歌山県立高等学校入学志願者調査書等の作成について」による。

7 書類の審査

(1) 調査書等審査委員会

ア 高等学校長は、審査の厳正、公平かつ適正を期するため、調査書等審査委員会を組織すること。

イ 調査書等審査委員会は、平成 22 年度和歌山県立高等学校入学者選抜実施要項（以下「実施要項」という。）に基づいて提出された書類について審査すること。

(2) 高等学校長は、中学校長から提出された書類の中に、不明な事項等がある場合には、当該中学校長に説明又は訂正を求めることができる。ただし、訂正を求めた場合には、（県）教育長にその概要について文書で報告しなければならない。

8 学力検査等

出願者は、平成 22 年度和歌山県立高等学校入学者選抜学力検査（以下「学力検査」という。）を受けるものとする。また、高等学校長は、学力検査のほかに面接（口頭による検査を含む。）、作文又は小論文、実技（プレゼンテーションを含む。）による検査（以下「面接・実技検査等」という。）を実施することができる。ただし、平成 22 年 3 月卒業見込みの者以外の出願者には、学力検査終了後、別途、面接を実施するものとする。

各校の実施内容については、「選抜選考基準」（別表 1）及び「平成 22 年度和歌山県立高等学校入学者選抜の面接・実技検査等」（別表 2）のとおりとする。

(1) 学力検査と配点

ア 学力検査

学力検査の教科は、国語、社会、数学、理科及び外国語（英語（リスニングテストを含む。））とする。

リスニングテストは、外国語（英語）の検査時間の冒頭で校内放送設備を用いて一斉に行う。

イ 配点

各教科 100 点満点とする。ただし、高等学校長は、学科（コース）の特色を考慮し、特定の教科について2倍を超えない範囲で傾斜配点することができる。

なお、傾斜配点を行う学校については、「選抜選考基準」（別表1）のとおりとする。

(2) 検査期日と日程

学力検査等の期日及び日程は、次のとおりとし、受検者は、学力検査当日午前9時までに集合すること。

ア 期日 学力検査 平成22年3月10日（水）

面接・実技検査等 平成22年3月11日（木）

イ 日程 下記の日程により実施する。

第1日（学力検査）

9:00	9:25	10:15	10:30	11:20	11:35	12:25	13:10	14:00	14:15	15:05
点呼 入場	国語	休憩	社会	休憩	数学	(昼食)	理科	休憩	外国語 (英語)	

第2日（面接・実技検査等）

9:00

面接・実技検査等										
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

(注) 実施時間帯は、実施校により異なるため、当該高等学校長の指示による。

(3) 検査場所

学力検査、面接・実技検査等は、原則として出願先高等学校で行う。ただし、全日制課程の分校に出願した者は分校で、海南高等学校の海南校舎及び大成校舎並びに串本古座高等学校の串本校舎及び古座校舎に出願した者は、それぞれ出願先の校舎で行う。

(4) 検査当日の注意

ア 受検者は、必ず受検票及び筆記用具を持参し、受検票は、受検中机上に置くこと。

イ 受検者がやむを得ず遅刻したときは、高等学校長の許可を得なければ検査場に入ることができない。

ウ 学力検査、面接・実技検査等の実施時間帯は、出願先高等学校長の指示するところによるので留意すること。

エ 実技検査を受ける者は、出願先高等学校長の指示に従い、受検できる服装等を準備しなければならない。

オ 受検者がやむを得ない事情で受検できなくなった場合、受検者の在学又は出身校の中学校長は、出願先の高等学校長に速やかにその旨を報告するとともに、受検できなかった理由が正当である

ことを証明する書類（医師の診断書等）を添え、出願先の高等学校長に再学力検査受検願（別記第8号様式その1）を届け出るものとする。また、届出を受けた高等学校長は、事情内容を審査し、正当と認められるときは、再学力検査受検許可書（別記第8号様式その2）を交付し、その受検を許可するものとする。ただし、再学力検査受検願及び再学力検査受検許可書は、各高等学校で作成すること。

9 定時制の課程における成人特別措置

(1) 対象者及び内容

ア 満20歳以上の志願者（平成2年4月1日以前に生まれた者）で、定時制課程成人特別措置を希望する者

イ 作文及び面接による検査を行う。

ウ 調査書の提出を省略することができる。

(2) 申請手続

この特別措置の適用を受けようとする者は、一般出願の際、定時制課程成人特別措置申請書（別記第9号様式）に中学校卒業証明書又は高等学校入学資格を証する書類を添付して、直接、志願先の高等学校長に提出すること。ただし、志願先の変更はできない。

(3) 検査期日と日程

検査期日は、学力検査と同一日とし、日程は、次のとおりとする。

9:00	9:25	10:15	10:30
点呼入場	作文	休憩	面接

(4) 成人特別措置による入学者数

別に定める募集定員の10%を標準とし、募集定員内で出願状況に応じて当該高等学校長が決定する。

(5) 検査場所

出願先高等学校で行う。

(6) 検査当日の注意

第8項第4号に準ずるものとする。

(7) 入学願等の交付

入学願、受検票、定時制課程成人特別措置申請書については、（県）学校教育局学校指導課及び定時制の課程を有する高等学校において交付する。

10 入学者の選抜

高等学校長は、出願者が募集定員を超過するか否かにかかわらず、次の要領によって、入学者の選抜を行うこと。

(1) 合否判定の原則

合否の判定は、中学校長から提出された調査書等（又はこれに相当する書類）及び学力検査の成績に基づいて行う。ただし、面接・実技検査等を実施した学校・学科（コース）等にあっては、その成績も判定資料とする。

なお、各学校の一般選抜における入学者の選抜基準は、「選抜選考基準」（別表1）のとおりとする。

(2) 判定資料の評価

ア 調査書

調査書の「評定」、「特別活動に関する特記事項」、「校内外の活動等に関する特記事項」、「観点別学習状況」等にその他の記載内容を加味し、総合的に評価すること。

(ア) 「評定」

次の方法で算出し、計 180 点満点とする。ただし、調査書に記載されている全教科の評定を対象として、2 倍を超えない範囲で傾斜評価を実施することができる。傾斜評価を行う学校については、「選抜選考基準」(別表 1) のとおりとする。

なお、傾斜評価を実施する学科(コース)にあつては、傾斜評価後の合計を満点とすること。

a 第 1・第 2 学年の評定

第 1・第 2 学年の 9 教科の 5 段階評定の合計を算出する。 (90 点満点)

b 第 3 学年の評定

第 3 学年の 9 教科の 5 段階評定の合計を 2 倍して算出する。 (90 点満点)

(イ) 「特別活動及び校内外の活動等」

「特別活動に関する特記事項」、「校内外の活動等に関する特記事項」、「観点別学習状況」及びその他の記載内容を総合的に評価すること。

イ 学力検査の成績

学力検査実施教科は各教科 100 点満点とし、計 500 点満点とする。ただし、傾斜配点を実施する学科(コース)にあつては、傾斜配点後の合計を満点とすること。

ウ 面接・実技検査等の成績

(ア) 面接(口頭による検査を含む。)

段階的に評価する。

(イ) 作文又は小論文、実技(プレゼンテーション等を含む。)による検査

検査結果を適切に点数化して評価する。

エ その他の資料

中学校長から副申書等の提出があつた場合は、その記載内容に留意すること。

(3) 合否判定の手順について

次のア～エの各段階順に判定していくものとし、第 2 志望を認める学校にあつては、初めに第 1 志望の者を対象として第 2 段階までの判定を行い、次に第 2 段階まで合格予定者にならなかつた者にスポーツ推薦で合格しなかつた者及び第 2 志望の者を加えて、第 3 段階の判定を行うものとする。

なお、受検者の数が一般選抜募集枠(以下「募集枠」という。)に満たない場合は、第 1 段階、第 2 段階に示した人数の割合を、いずれも全受検者に対する割合とした上で、合否を判定するものとする。ただし、出願者が少人数のため、各段階順による判定が困難な場合は、前号判定資料の評価に基づき、総合的に判定することができる。

ア 第 1 段階

全受検者のうち、次の(ア)、(イ)及び、面接・実技検査等を実施した場合は(ウ)のいずれかにおいて、それぞれの条件を満たす者を合格予定者とする。ただし、第 1 段階での合格予定者

数は、募集枠の 80 %を上限とし、80 %を超えた場合は、(ア)～(ウ)をそれぞれの割合(募集枠に対する割合)が保たれるよう減じることにより調整するものとする。

(ア)「調査書」の記載内容が優れた者で「学力検査の成績」が募集枠内にある者のうち、「選抜選考基準」(別表 1)に示した割合内にある者。ただし、面接・実技検査等を実施した場合は、その成績が著しく下位の者を除く。

(イ)「学力検査の成績」が優れた者で「評定」が募集枠内にある者のうち、「選抜選考基準」(別表 1)に示した割合内にある者。ただし、面接・実技検査等を実施した場合は、その成績が著しく下位の者を除く。

(ウ)「面接・実技検査等の成績」が優れた者で「評定」及び「学力検査の成績」が募集枠内にある者のうち、「選抜選考基準」(別表 1)に示した割合内にある者。

イ 第 2 段階

第 1 段階における合格予定者数が募集枠の 80 %に満たない場合は、第 1 段階の(ア)～(ウ)を同じ割合(募集枠に対する割合)が保たれるよう増加させることにより、合格予定者数が募集枠の 80 %になるまで調整する。

ウ 第 3 段階

第 1 段階及び第 2 段階の合格予定者を除いたすべての受検者に、スポーツ推薦で合格しなかった者及び第 2 志望の者を加え、「調査書」及び「学力検査の成績」並びにその他の資料や面接・実技検査等を実施したときの成績も含め、学科の特色を考慮しながら総合的に判定し、合格予定者とする。ただし、用いる判定資料はこれらの受検生に共通のものとする。

エ 第 4 段階

第 3 段階において、募集枠までを合格予定者としたうえ、更に、全受検者について総合的な観点から検討し、最終的に合格者を決定する。

11 合格者の発表

平成 22 年 3 月 18 日(木)午前 10 時に各検査場所において一斉に掲示する。

12 入学資格認定検査

学校教育法施行規則第 95 条第 5 号の規定による高等学校入学資格認定検査については、平成 22 年 2 月 8 日(月)に志願先の高等学校で行う。受検希望者は、平成 22 年 2 月 2 日(火)正午までに、志願先の高等学校長に願い出ること。

なお、入学資格認定検査の実施方法については、志願先の高等学校長が定めるものとする。

13 実施上の留意事項

- (1) 中学校長は、在学者又は出身者が本人の能力、適性、興味及び関心等に応じて、志願校・志願学科(コース)の選定をするよう、適切な進路指導を行うこと。
- (2) 高等学校長は、学力検査等が適切に行われるよう事前に十分準備しておくこと。
- (3) 中学校長は、高等学校長に提出した調査書等の内容等について、一切漏えいすることのないよう、管理に慎重を期するとともに、関係職員を厳重に監督しなければならない。また、高等学校長は、合否判定の経過及び結果等の状況並びに学力検査等の結果及び中学校長から提出された調査書等の内容等について、一切漏えいすることのないよう、管理に慎重を期するとともに、関係職員を厳重に監督しなければならない。

- (4) 高等学校長は、入学式前の諸連絡について、日を改めて行うこととし、合格発表当日に保護者を招集しないこと。
- (5) 中学校長は、合格者の生徒健康診断票（歯の検査票を含む。）を平成 22 年 3 月 31 日（水）までに、進学先の高等学校長に提出すること。
なお、中学校において生徒健康診断票を保存している過年度卒業生（平成 17 年 3 月～平成 21 年 3 月中学校卒業生）についても、同様に提出すること。
- (6) 第 8 項の実施方法については、高等学校長に別途通知する。
- (7) 実施要項に定めるもののほか、必要な事項は、高等学校長に別途通知する。

第 2 スポーツ推薦

スポーツ推薦は、県教育委員会の指定を受けた高等学校で実施する。

なお、指定する高等学校、競技スポーツ種目については、「平成 22 年度和歌山県立高等学校入学者選抜のスポーツ推薦実施校及び指定競技スポーツ等」（別表 3）のとおりとする。

1 出願資格

- (1) 出願できる者は、次のいずれかに該当し、かつ次号の条件を満たすものとする。
 - ア 平成 22 年 3 月に中学校卒業見込みの者
 - イ 平成 21 年 4 月から平成 22 年 3 月までに、外国において、学校教育における 9 年の課程を修了又は修了見込みの者
 - ウ 平成 21 年 4 月から平成 22 年 3 月までに、文部科学大臣が中学校の課程に相当する課程を有するものとして指定した在外教育施設の当該課程を修了又は修了見込みの者
- (2) 次のア及びイの条件を満たす者で、中学校長の推薦を得たものとする。
 - ア 特別活動及び校内外の活動等において優れた点が見られ、生活態度が良好であること。
 - イ スポーツ推薦を実施する高等学校が定める「平成 22 年度和歌山県立高等学校入学者選抜のスポーツ推薦出願条件」（別表 4）に適合すること。

2 スポーツ推薦入学者数

1 競技スポーツ 5 名程度とする。ただし、男女の指定のない場合は、男女計 5 名程度とする。

3 志願校

- (1) 志願者は、スポーツ推薦を実施するすべての学校・学科（コース）を志願することができる。ただし、出願は 1 校 1 課程 1 学科（コース）に限る。
- (2) 志願者は、同一校、同一課程に限り、第 1 志望として出願した学科（コース）以外の学科（コース）を第 2 志望として出願することができる。

4 出願受付期間

第 1 第 4 項に準じる。

5 出願手続

- (1) 一般出願
 - ア 志願者の手続
入学志願者は、次の書類等を在学する中学校長に提出すること。
なお、他の都道府県から和歌山県立高等学校を志願する場合は、「IV 他の都道府県からの高

等学校入学志願者等に関する手続について」による。

(ア) スポーツ推薦入学願 (別記第 10 号様式)

(イ) 受検票 (別記第 2 号様式)

(ウ) 入学考査手数料

スポーツ推薦入学願の所定の欄に、和歌山県証紙 (全日制課程 2,200 円) をはる。

イ 中学校長の手続

中学校長は、第 5 項第 1 号アの書類の記載事項に誤りのないことを確かめ、平成 22 年 2 月 22 日 (月) から平成 22 年 2 月 23 日 (火) 午後 3 時まで、一般出願者報告書 (別記第 3 号様式) を、学校・課程・学科 (コース) 別に志願先の高等学校長に提出すること。

ウ 高等学校長の手続

高等学校長は、中学校長から提出された一般出願者報告書により志願状況 (中学校在学の者以外の志願者も含める。) を課程・学科 (コース) 別に集計し、別途指定する方法で (県) 学校教育局学校指導課長に報告すること。

エ 注意事項

(ア) 第 3 項第 2 号により志願する者は、スポーツ推薦入学願の「志願学科 (コース等)」の欄に志望順位別に学科 (コース) 名等を記入すること。

(イ) 串本古座高等学校の串本校舎への志願者は、その出願先の校舎名を受検票の「受検場所」の欄に記入すること。

(ウ) 志願先の変更はできない。

(2) 本出願

ア 中学校長の手続

中学校長は、志願者から提出された書類の記載事項に誤りのないことと、スポーツ推薦入学願の所定の欄に、和歌山県証紙 (全日制課程 2,200 円) がはられていることを確かめ、志願者に係る次の書類 (作成は第 1 項第 5 項第 3 号に準じて行う。) を作成し、一括して志願先の高等学校長に提出すること。ただし、第 1 項第 1 号イ及びウに該当する者は、(県) 学校教育局学校指導課長の指示を受けるものとする。

(ア) スポーツ推薦書 (別記第 11 号様式)

(イ) 調査書 (別記第 4 号様式)

(ウ) 生徒成績一覧表 (別記第 5 号様式)

第 1 項第 5 項第 3 号イ (イ) に準じて行う。ただし、「備考」欄に「スポーツ」と記入すること。

(エ) 副申書 (別記第 6 号様式)

(オ) 学力検査等特別措置願 (別記第 7 号様式)

イ 高等学校長の手続

第 1 項第 5 項第 3 号ウに準じて行う。

6 学力検査等

出願者は、学力検査及びスポーツ実技検査等を受けるものとする。

なお、スポーツ実技検査等については、「平成 22 年度和歌山県立高等学校入学者選抜のスポーツ推薦におけるスポーツ実技検査等」(別表 5) のとおりとする。

(1) 検査期日と日程

学力検査等の期日及び日程は、次のとおりとし、受検者は、学力検査当日午前9時までに集合すること。

- ア 期日 学力検査 平成22年3月10日(水)
スポーツ実技検査等 平成22年3月11日(木)

イ 日程 下記の日程により実施する。

第1日(学力検査)

9:00	9:25	10:15	10:30	11:20	11:35	12:25	13:10	14:00	14:15	15:05
点呼 入場	国語	休憩	社会	休憩	数学	(昼食)	理科	休憩	外国語 (英語)	

第2日(スポーツ実技検査等)

9:00

スポーツ実技検査等

(注) 実施時間帯は、実施校により異なるため、当該高等学校長の指示による。

(2) 検査場所

学力検査、スポーツ実技検査等は、原則として出願先高等学校で行う。

(3) 検査当日の注意

- ア 受検者は、必ず受検票及び筆記用具を持参し、受検票は、受検中机上に置くこと。
- イ 受検者がやむを得ず遅刻したときは、高等学校長の許可を得なければ検査場に入ることができない。
- ウ 学力検査、スポーツ実技検査等の実施時間帯は、出願先高等学校長の指示するところによるので留意すること。
- エ スポーツ実技検査を受ける者は、出願先高等学校長の指示に従い、受検できる服装等を準備しなければならない。
- オ 受検者がやむを得ない事情で受検できなくなった場合は、第1第8項第4号オに準ずる。

7 入学者の選抜

- (1) 高等学校長は、学力検査、スポーツ実技検査等の結果及びスポーツ推薦志願書、調査書等を総合して、厳正、公平かつ適正に入学者の選抜を行うこと。
- (2) スポーツ推薦で合格しなかった者は、第1第10項第3号に準じ、一般選抜において合否を判定するものとする。

8 合格者の発表

平成22年3月18日(木)午前10時に各検査場所において一斉に掲示する。また、高等学校長は、選考結果通知書(別記第12号様式)を中学校長に送付するものとする。ただし、選考結果通知書は、各高等学校で作成すること。

9 実施上の留意事項

第1第13項に準ずる。

10 その他の事項

- (1) 中学校長は、スポーツ推薦にあたり、厳正、公平かつ適正を期するため、推薦委員会を設けること。
- (2) 高等学校長は、スポーツ実技検査等の円滑な実施と選考の厳正、公平かつ適正を期するため、スポーツ推薦選抜委員会を設けること。
- (3) 前各項のほかスポーツ推薦に関し、必要な事項は「第1 一般選抜」各項の規定を準用する。

第3 特別選抜

特別選抜は、連携型中高一貫教育校（星林高等学校、南部高等学校龍神分校、串本古座高等学校古座校舎）で実施する。

1 出願資格

特別選抜に出願できる者は、当該高等学校ごとに示した中学校を平成22年3月に卒業見込みのものとする。

- (1) 星林高等学校
和歌山大学教育学部附属中学校
- (2) 南部高等学校龍神分校
田辺市立龍神中学校
- (3) 串本古座高等学校古座校舎
串本町立田原中学校、串本町立西向中学校、古座川町立明神中学校、古座川町立古座中学校

2 特別選抜入学者数

各校の募集定員に対する割合は次のとおりとする。

学 校 名	学科名	特別選抜枠 (募集定員に対する割合)
星林高等学校	普通科	5 %程度
	国際交流科	5 %程度
南部高等学校龍神分校	普通科	50 %程度
串本古座高等学校古座校舎	普通科	50 %程度

3 出願受付期間

出願受付期間は、次のとおりとし、それぞれ志願先の連携型中高一貫教育校で受け付ける。

平成22年2月4日（木）	午前9時から午後3時まで
--------------	--------------

4 出願手続

特別選抜志願者は、次の書類等を在学する中学校長に提出すること。中学校長は書類の記載事項に誤りのないことを確かめ、志願先の高等学校長に提出すること。

- (1) 入学願（別記第13号様式）
- (2) 受検票（別記第2号様式）
- (3) 入学考査手数料
入学願の所定の欄に、和歌山県証紙（2,200円）をはることを。

5 入学者の選抜

(1) 選抜方法

入学者の選抜にあたっては、学力検査及び調査書によることなく、面接等各高等学校が実施する簡便な方法により行う。

なお、各高等学校が実施する選抜方法については、「平成 22 年度連携型中高一貫教育校の特別選抜実施方法等」(別表 6) のとおりとする。

(2) 日時及び場所

ア 日時 平成 22 年 2 月 9 日 (火) 午前 9 時から

イ 場所 出願先の高等学校

6 合格内定の通知

高等学校長は、選考結果通知書(別記第 12 号様式)を中学校長(又は委任を受けた者)に、平成 22 年 2 月 16 日(火)午前 10 時に当該高等学校において手渡すものとする。ただし、選考結果通知書は、各高等学校で作成すること。

なお、合格者の発表は、平成 22 年 3 月 18 日(木)午前 10 時に各特別選抜実施場所において一斉に行う。

7 実施上の留意事項

- (1) 高等学校長は、提出された受検票に受検番号を付して、当該中学校長を通じ、出願者に交付すること。
- (2) 中学校長は、合格者の生徒指導要録の写し及び生徒健康診断票(歯の検査票を含む。)を平成 22 年 3 月 31 日(水)までに、進学先の高等学校長に提出すること。
- (3) 前各項のほか特別選抜に関し必要な事項は、「第 1 一般選抜」各項の規定を準用する。

第 4 追募集

合格者が募集定員に満たない学科(コース)については、追募集を行う。

1 出願資格

出願資格は、第 1 第 1 項に定めるとおりとする。ただし、既に和歌山県立高等学校に合格している者及び再学力検査の受検を許可されている者を除く。

2 追募集枠

追募集枠の通知は、次の各号により行う。

- (1) (県) 学校教育局学校指導課及び各市町村教育委員会において、追募集枠一覧表を、平成 22 年 3 月 18 日(木)午後 2 時に掲示する。

なお、掲示場所については、(県) 学校教育局学校指導課及び各市町村教育委員会に問い合わせること。

- (2) 中学校長には、各市町村教育委員会を通じて通知する。

3 出願受付期間

出願受付期間は、次のとおりとし、それぞれ志願先の高等学校で受け付ける。ただし、全日制課程の分校に出願する者はそれぞれの分校で受け付ける。また、海南高等学校の海南校舎及び大成校舎並びに串本古座高等学校の串本校舎及び古座校舎に出願する者は、それぞれの校舎で受け付ける。

平成 22 年 3 月 24 日 (水)	午前 9 時から午後 4 時まで
----------------------	------------------

4 出願手続

(1) 志願者の手続

入学志願者は、次の書類等を在学又は出身校の中学校長に提出する。ただし、中学校在学及び卒業の者以外の志願者については、次の書類のほか、高等学校入学資格を証する書類を添付し、直接、志願先の高等学校長に提出すること。

ア 入学願（別記第 14 号様式）

イ 受検票（別記第 2 号様式）

ウ 申告書（別記申告書第 4 号様式）

箕島高等学校普通科（スポーツコース）を志願する者のみ提出すること。

エ 入学考査手数料

入学願の所定の欄に、和歌山県証紙（全日制課程 2,200 円、定時制課程 950 円）をはること。

(2) 中学校長の手続

中学校長は、前号の書類の記載事項に誤りのないことを確かめ、調査書（別記第 4 号様式）、生徒成績一覧表（別記第 5 号様式）及び必要に応じて副申書（別記第 6 号様式）並びに学力検査等特別措置願（別記第 7 号様式）を添えて、志願先の高等学校長に提出すること。ただし、全日制課程の分校に出願する者はそれぞれの分校に、海南高等学校の海南校舎及び大成校舎並びに串本古座高等学校の串本校舎及び古座校舎に出願する者はそれぞれの校舎に提出すること。

(3) 高等学校長の手続

第 1 第 5 項第 3 号ウに準じて行う。

(4) 注意事項

ア 第 1 第 3 項第 2 号により志願する者は、入学願の「志願学科（コース等）」の欄に志望順位別に学科（コース）名等を、定時制課程については昼間、夜間の別も記入すること。

イ 平成 22 年 3 月中学校卒業見込みの者以外の志願者は、入学願の「卒業後の状況」の欄に最終学校卒業後の履歴等を記入すること。

ウ 全日制課程の分校への志願者はその出願先の分校名を、海南高等学校の海南校舎及び大成校舎並びに串本古座高等学校の串本校舎及び古座校舎への志願者は、その出願先の校舎名を受検票の「受検場所」の欄に記入すること。

5 学力検査等

出願者は、平成 22 年度和歌山県立高等学校入学者追募集学力検査（以下「追学力検査」という。）及び面接を受けるものとする。ただし、高等学校長は、受検者に対して、作文又は小論文、実技検査等（以下「実技検査等」という。）を実施することができる。

各高等学校の実施内容については、「平成 22 年度和歌山県立高等学校入学者選抜の学校別実施概要（追募集）」（別表 7）のとおりとする。

(1) 追学力検査と配点

ア 追学力検査

総合問題とする。総合問題の対象教科は、国語、社会、数学、理科及び外国語（英語）とする。

イ 配点

総合問題は 100 点満点とする。

(2) 検査期日と日程

ア 期日 平成 22 年 3 月 26 日 (金)

イ 日程 下記の日程により実施する。

9:00	9:25	10:25	10:40
点呼入場	総合問題	休憩	面接、実技検査等

(3) 検査場所

追学力検査、面接、実技検査等は、原則として出願先高等学校で行う。ただし、全日制課程の分校に出願した者は分校で、海南高等学校の海南校舎及び大成校舎並びに串本古座高等学校の串本校舎及び古座校舎に出願した者は、それぞれ出願先の校舎で行う。

(4) 検査当日の注意

ア 受検者は、必ず受検票及び筆記用具を持参し、受検票は、受検中机の上に置くこと。

イ 受検者がやむを得ず遅刻したときは、高等学校長の許可を得なければ検査場に入ることができない。

ウ 面接、実技検査等の実施時間帯は、各志願先高等学校長の指示するところによるので留意すること。

エ 実技検査を受ける者は、出願先高等学校長の指示に従い、受検できる服装等を準備しなければならない。

6 定時制の課程における成人特別措置

第 1 第 9 項に準じて行う。

7 入学者の選抜

高等学校長は、調査書、追学力検査及び面接等を総合して、厳正、公平かつ適正に行うこと。

8 合格者の発表

平成 22 年 3 月 30 日 (火) 午前 10 時に各検査場所において掲示する。

9 実施上の留意事項

(1) 合格者に係る生徒健康診断票 (歯の検査票を含む。) は、平成 22 年 4 月 2 日 (金) までに進学先の高等学校長に提出するものとする。

なお、中学校において生徒健康診断票を保存している過年度生 (平成 17 年 3 月～平成 21 年 3 月中学校卒業生) についても、同様に提出すること。

(2) 前各項のほか追募集に関し必要な事項は、「第 1 一般選抜」各項の規定を準用する。

第 5 再学力検査

一般選抜で再学力検査受検許可書を交付した学校については、追募集と同期日、同日程で再学力検査を実施する。

1 受検資格

一般選抜に出願し、第 1 第 8 項第 4 号オにより、再学力検査受検許可書の交付を受けた者とする。

2 学力検査等

第 4 第 5 項に準じて行う。

3 入学者の選抜

第1第10項の入学者の選抜に準じて実施し、再学力検査の受検者が有利又は不利になることのないよう十分配慮すること。

4 合格者の発表

第4第8項に準じて行う。

5 実施上の留意事項

前各項のほか、再学力検査に関し必要な事項は、「第4 追募集」各項の規定を準用する。

別記第1号様式（第1第5項関係）

（裏）

第1第5項第3号ア（イ）に該当する事項

中学校長等副申

平成 年 月 日

中学校名

校長氏名



(表)

受 検 票	
※ 受 検 番 号	志願学科 (コース等)
受 検 場 所	(分 校)
(ふりがな) 氏 名	高等学校 (校 舎)
生 年 月 日	平成 年 月 日生
現 住 所	
学 校 名	中学校
卒 業 年 月 日	平成 年 月 日 卒業
備 考	※ 受 付 印

(注) ※印は、高等学校において記入すること。

(裏)

受検上の留意事項

- 1 受検場所へは、時間にゆとりをもって行き、途中、交通事故などに十分注意する。
- 2 遅刻の理由その他について、正当と認められる場合はそれ以後受検することができるので、万一遅刻する場合は、あらかじめ高等学校校長に届けておき到着後受検したい旨を申し出る。
- 3 検査前に受検上の注意事項の説明があるので、よく聴いて間違いないようにする。
- 4 受検票は、受検中必ず机の上に置いておく。
- 5 問題冊子、解答用紙とも必ず受検番号を記入する。
- 6 どの教科を受検する場合でも机の上には鉛筆 (シャープペンシルも可)等の筆記用具だけを用意する。
- 7 問題の印刷が悪くてわからないときは、黙って手を挙げ、許可を受けてから質問する。ただし、問題の内容については、質問できない。
- 8 面接を受ける場合、受検票は、面接開始時に面接委員に提示する。

特別選抜日時	平成22年2月9日(火)午前9時から
一般選抜日時 スポーツ推薦日時	学力検査 平成22年3月10日(水)午前9時から 面接・実技検査等 平成22年3月11日(木)
追募集日時	平成22年3月26日(金)午前9時から

平成22年度和歌山県立高等学校入学志願者調査書

受検番号		記入責任者氏名											
志 願 者			各 教 科 等 の 学 習 の 記 録										
(ふりがな) 氏名	平成 年 月 日生	性別	教 科	観点別学習状況			評 定			選 択 教 科 の 評 定			
				観 点	学 年	学 年	学 年	学 年	教 科	学 年	学 年	学 年	
				1	2	3	1	2	3		1	2	3
現住所			国 語	①									
				②									
				③									
				④									
				⑤									
卒業	平成 年 月 日	卒業見込み 卒業番号	社 会	①									
				②									
編入学 転入学	平成 年 月 日	編入学 転入学		③									
				④									
欠 席 等 の 状 況			教 学	①									
区分 学年	欠席 日数	備 考		②									
				③									
1				④									
			理 科	①						学年	総合的な学習の時間の記録		
2				②						1			
				③									
3				④									
健康の状況に関する特記事項			音 楽	①						2			
				②									
				③									
				④									
総 合 所 見			美 術	①						3			
				②									
				③									
				④									
			保 健 体 育	①									
				②									
				③									
				④									
			技 術 ・ 家 庭	①							部活動等		
				②									
				③									
				④									
			外 国 語	①							ボランティア活動等		
				②									
				③									
				④									
			合 計							資格・特技等			

上記のとおり相違ないことを証明します。

平成 年 月 日

_____ 中 学 校 校長氏名 _____ 印

別記第6号様式（第1第5項、第2第5項、第4第4項関係）

副 申 書

平成 年 月 日

和歌山県立 高等学校長 様

中学校名

校長氏名



志願者氏名 _____ 平成 年 月 日生（性別 ）

志願学科（コース等）名 _____

上記の志願者について、下記のとおり副申します。

記

学力検査等特別措置願

平成 年 月 日

和歌山県立 高等学校長 様

中学校名

校長氏名



志願者氏名 _____ 平成 年 月 日生（性別 ）

志願学科（コース等）名 _____

上記の志願者について、下記の理由により、特別の措置をお願いします。

記

（障害の程度（〇〇デシベル等）及び中学校の授業時に講じた措置等を具体的に記入すること。）

別記第8号様式その1（第1第8項関係）

<h2>再学力検査受検願</h2>	
平成 年 月 日	
和歌山県立	高等学校長 様
	中学校名
	校長氏名 印
下記の理由により、再学力検査を受検させていただきようお願いします。	
記	
受検番号	志願者氏名
理由	

-----切取線(切り取らないで提出する)-----

別記第8号様式その2（第1第8項関係）

<h2>再学力検査受検許可書</h2>	
平成 年 月 日	
中学校長 様	
高等学校名	
校長氏名 印	
下記の者に、追募集と同日程で行われる再学力検査の受検を許可します。	
記	
受検番号	志願者氏名

定時制課程成人特別措置申請書

平成 年 月 日

和歌山県立

高等学校長 様

（ふりがな）

本人氏名

㊟

（本人署名）

平成

年 月 日生（性別 ）

昭和

志願学科名

平成22年度和歌山県立高等学校入学者選抜実施要項第1第9項により、定時制課程成人特別措置の適用を申請します。

ス ポ ー ツ 推 薦 入 学 願

和歌山県証紙をはる。
 全日制課程 2,200 円
 (自分で消印しない。)

貴校全日制課程へのスポーツ推薦による入学を志願します。 <div style="text-align: right; margin-right: 100px;">平成 年 月 日</div> 和歌山県立 高等学校長 様 <div style="text-align: right; margin-right: 100px;">(ふりがな) 本人氏名 (本人署名)</div> <div style="text-align: right; margin-right: 100px;">平成 年 月 日生 (性別)</div> <div style="text-align: right; margin-right: 100px;">保護者又は 保証人氏名 ⑩</div>				
志願学科 (コース等)	第 1 志望		第 2 志望	
希望する競技スポーツ名				

志願の動機、理由	
----------	--

本人	現住所	〒 —
	電話番号	()
	学業	平成 年 月 日 中学校 卒業見込み
保又は 護保 証 者人	現住所	〒 —
	本人との続柄	

平成 年 月 日

中学校長 様

高等学校名

校長氏名

印

選考結果通知書

貴校からの（特別選抜
スポーツ推薦）の出願者について、下記のとおり決定したので通知
します。

記

課程名	志願学科(コース等)名	受検番号	氏名	選考結果		備考
				合	否	

(注) 該当するものを、○で囲むこと。

「選考結果」は、合格の場合には「合」の欄に、不合格の場合には「否」の欄に○を記入すること。

入 学 願

（特別選拔出願用）

和歌山県証紙をはる。
 全日制課程 2,200 円
 （自分で消印しない。）

貴校全日制課程（ 分校）への特別選抜による入学を志願します。

なお、合格が内定された場合には、相違なく入学することを確約します。

平成 年 月 日

和歌山県立 高等学校長 様

（ふりがな）
 本人氏名
 （本人署名）

平成 年 月 日生（性別 ）

保護者又は
 保証人氏名 ⑩

志願学科（コース等）	
------------	--

本 人	現 住 所	〒 —
	電 話 番 号	()
	学 業	平成 年 月 日 中学校 卒業見込み
保 又 は 護 保 証 者 人	現 住 所	〒 —
	本人との続柄	

入 学 願

（追募集出願用）

和歌山県証紙をはる。
 全日制課程 2,200 円
 定時制課程 950 円
 （自分で消印しない。）

貴校	[全日制 定時制]	課程（	_____ 分校）への追募集による入学を志願します。	平成	年	月	日
和歌山県立		高等学校長 様					
（ふりがな） 本人氏名 （本人署名）							
平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日生（性別 _____）							
保護者又は 保証人氏名 _____ ⑩							
志願学科（コース等）		第 1 志望		第 2 志望			

本 人	現 住 所	〒 _____
	電 話 番 号	(_____)
	学 業	平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日 _____ 中学校 卒業見込み 卒業
	卒業後の状況	_____
保又 は 護保 証 者人	現 住 所	〒 _____
	本人との続柄	_____

（注）課程別等は、該当するものを○で囲むこと。

別記申告書第1号様式（第1第5項関係）

受検番号

申 告 書

平成 年 月 日

和歌山県立貴志川高等学校長 様

（ふりがな）

本人氏名

（本人署名）

保護者又は

保証人氏名

⑩

平成22年度和歌山県立貴志川高等学校人間科学科の一般選抜における学力検査の傾斜配点を希望する1教科について、次のとおり申告します。

申 告 教 科 名

- （注）
- 1 申告後の変更は認めない。
 - 2 受検番号は記入しないこと。

受検番号

申 告 書

平成 年 月 日

和歌山県立和歌山北高等学校長 様

(ふりがな)
本人氏名
(本人署名)

保護者又は
保証人氏名

㊟

平成22年度和歌山県立和歌山北高等学校体育科の一般選抜における実技検査について、次のとおり申告します。

専 門 競 技 名	備 考

- (注) 1 水泳については備考欄に「競泳」又は「飛込」を記入すること。
2 陸上競技を希望する者については、備考欄に下記の検査項目から1つを選んで記入すること。(100m走、1000m走、走り幅とび、砲丸投げ)
3 記入しないところは斜線(／)を引くこと。
4 申告後の変更は認めない。
5 受検番号欄は記入しないこと。

受検番号

申 告 書

和歌山県立和歌山高等学校長 様

平成 年 月 日

(ふりがな)
本人氏名
(本人署名)

保護者又は
保証人氏名

⑩

平成22年度和歌山県立和歌山高等学校一般選抜におけるパーソナルプレゼンテーション（自己表現）の実施について、次のとおり申告します。

中学校名		電話番号	
自宅住所		電話番号	

分 野	1 語学文化 自然科学	2 商業, 情報 工業・技術 家庭	3 芸術関係	4 保健体育	5 「総合的な学習の時間」 特別活動
内 容	国語, 英語 数学, 理科 社会	商業, 情報 工業・技術 家庭	音楽, 書道 美術	スポーツ 保健体育	「総合的な学習の時間」 特別活動 その他
発表の概要 (発表の内容を具体的に 記載)					
自分で準備 できるもの					
準備して欲 しいもの					
備 考					

- (注) 1 該当する分野の番号に○を、内容については、該当するものを1つ○で囲むこと。
 2 申告後の変更は認めない。
 3 受検番号欄は記入しないこと。

受検番号

申 告 書

平成 年 月 日

和歌山県立箕島高等学校長 様

(ふりがな)

本人氏名

(本人署名)

保護者又は

保証人氏名

印

平成22年度和歌山県立箕島高等学校普通科（スポーツコース）の ⎓ 一般選抜 ⎓ 追募集 における実技検査について、次のとおり申告します。

- ◎ 次の専門競技のうちから1つを選び○を記入しなさい。
 なお、※印の競技については、「男・女」のいずれかを○で囲みなさい。

専 門 競 技 名					
※柔 道	※剣 道	※空手道	※陸上競技	硬式野球 (男子のみ)	相 撲 (男子のみ)
男・女	男・女	男・女	男・女		
※フェンシング	※ホッケー	※ソフトボール	バレーボール (女子のみ)	バスケットボール (女子のみ)	
男・女	男・女	男・女			

- (注) 1 出願する選抜の方法は、該当するものを○で囲むこと。
 2 申告後の変更は認めない。
 3 受検番号欄は記入しないこと。
 4 第2志望の場合も記入すること。

受検番号

申 告 書

和歌山県立日高高等学校長 様

平成 年 月 日

(ふりがな)
本人氏名
(本人署名)

保護者又は
保証人氏名

㊟

平成22年度和歌山県立日高高等学校中津分校一般選抜におけるパーソナルプレゼンテーションの実施について、次のとおり申告します。

1 次の分野を選択します。(いずれかに○を付けること。)

① () 生徒会活動、文化活動、奉仕活動等の発表
② () 運動能力の発表

以下については、①の選択者のみ記入すること。

2 実施内容の概略

コンピュータやVTR等、モニタ装置や投影装置を使用する発表はできません。
試験場では、ホワイトボード（マーカー、資料貼付用磁石、指示棒を含む）のみ準備します。

--

3 パーソナルプレゼンテーションで持参する資料及び道具等。

--

- (注) 1 申告後の変更は認めない。
2 受検番号欄は記入しないこと。

Ⅱ 平成22年度和歌山県立高等学校入学者選抜 (通信制課程) 実施要項

1 設置校

通信制課程を設置する県立高等学校は、次のとおりである。

- ・和歌山県立紀の川高等学校
〒 649-7122 伊都郡かつらぎ町新田 1 2 0
- ・和歌山県立陵雲高等学校
〒 640-8137 和歌山市吹上 5 丁目 6 - 8

2 出願資格

出願することができる者は、次のいずれかに該当するものとする。ただし、特科生として特定の科目を履修しようとする者は、次に掲げる者以外のものであっても相当年齢に達しており、かつ、実施校の学校長が該当科目を履修することができることを認めるときは、当該高等学校に出願することができる。

- (1) 中学校又はこれに準ずる学校（以下「中学校」という。）を卒業又は平成 22 年 3 月卒業見込みの者
- (2) 外国において、学校教育における 9 年の課程を修了又は修了見込みの者
- (3) 文部科学大臣が中学校の課程に相当する課程を有するものとして指定した在外教育施設の当該課程を修了又は修了見込みの者
- (4) 旧青年学校本科第 1 学年又は旧中等学校第 3 学年を修了した者、その他文部科学大臣の指定した者
- (5) 保護者が就学させる義務を猶予又は免除された子女で文部科学大臣が別に定めるところにより、中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認定された者
- (6) 高等学校において、中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

3 出願者

和歌山県内に住所を有する者もしくはその勤務地が和歌山県内にある者又はその他特別の事由により校長が適当と認める者。

なお、出願にあたっては、実施校へ電話等で問い合わせ、必ず、事前説明を受けること。

4 出願受付期間

出願受付期間は、次のとおりとし、それぞれ志願先の高等学校で受け付ける。ただし、郵送の場合は、「書留」とし、平成 22 年 3 月 1 日（月）から平成 22 年 3 月 31 日（水）までの消印のあるものに限る。

平成 22 年 3 月 1 日（月）から 平成 22 年 3 月 31 日（水）まで （土曜日、日曜日、祝日は除く。）	午前 9 時から午後 3 時まで
---	------------------

なお、実施校の高等学校長がやむを得ないと認められた場合は、平成 22 年 4 月 9 日（金）まで出願を受け付けることができる。

5 出願手続

入学志願者は、次の書類等を志願先の高等学校長に提出すること。ただし、平成 22 年 3 月中学校卒業見込みの者は、在学中学校長を経て、提出すること。

- (1) 入学願（別記第 1 号様式）
- (2) 平成 22 年度和歌山県立高等学校入学志願者調査書（別記第 2 号様式）。ただし、平成 16 年 3 月以前の中学校卒業者については、調査書に代えて中学校卒業証明書を添付するものとする。
- (3) 和歌山県立高等学校入学志願者健康診断票（別記第 3 号様式）
平成 22 年 3 月中学校卒業見込みの者以外の出願者についてのみ、健康診断票を提出すること。
（平成 22 年 1 月 1 日以降に受診したもの。）
- (4) 生徒成績一覧表は、省略することができる。

6 入学者の選抜

- (1) 出願者は、出願先高等学校長が実施する面接等を受けるものとし、面接等の日時については、出願先の高等学校長が指定する。
- (2) 入学者の選抜は、中学校長から提出された調査書（又はこれに相当する書類）及び面接等の結果に基づいて総合的に判断する。

7 合格者の発表

平成 22 年 4 月 7 日（水）まで（第 4 項なお書きにより出願した者については、出願受付後 10 日以内）に受検者に対し通知書を発送する。

8 入学資格認定検査

第 2 項第 6 号に該当する旨の認定については、平成 22 年 3 月 11 日（木）に志願先の高等学校で行う。受検希望者は平成 22 年 3 月 2 日（火）正午までに、志願先の高等学校長に願い出ること。

9 その他

前各項のほか、入学者選抜に関し必要な事項は、出願先の高等学校長の定めるところによる。

入 学 願

(通信制課程出願用)

貴校通信制課程への入学を志願します。

平成 年 月 日

和歌山県立 高等学校長 様

(ふりがな)
本人氏名
(本人署名)

平成 年 月 日生 (性別)
昭和

保護者又は
保証人氏名

㊞

志 願 学 科		
本 人	現 住 所	〒 ー
	電 話 番 号	()
	学 業	平成 年 月 日 中学校 卒業見込み 昭和 卒業
	卒業後の状況	
保又 は 護保 証 者人	現 住 所	〒 ー
	本人との続柄	

平成22年度和歌山県立高等学校入学志願者調査書

受検番号

記入責任者氏名

志 願 者			各 教 科 等 の 学 習 の 記 録											
氏名 <small>(ふりがな)</small>	平成 年 月 日生	性別	教 科	観 点 別 学 習 状 況			評 定			選 択 教 科 の 評 定				
				観 点	学 年		学 年			教 科	学 年			
				1	2	3	1	2	3			1	2	3
現住所			国 語	①										
				②										
				③										
				④										
				⑤										
卒業	平成 年 月 日	卒業見込み 卒業	社 会	①										
				②										
編入学 転入学	平成 年 月 日	編入学 転入学		③										
				④										
欠 席 等 の 状 況			数 学	①										
区分 学年	欠 席 日 数	備 考		②										
				③										
				④										
1			理 科	①						学年	総 合 的 な 学 習 の 時 間 の 記 録			
2				②					1					
3				③							2			
健康の状況に関する特記事項			音 楽	④						3				
				①										
				②										
				③										
			美 術	④										
				①										
				②										
				③										
			保 健 体 育	④										
総 合 所 見				①										
				②										
				③										
			技 術 ・ 家 庭	④										
				①										
				②										
				③										
			外 国 語	④										
				①										
				②										
				③										
			合 計	④										
				①										
				②										
				③										
			資 格 ・ 特 技 等	④										
				①										
				②										
				③										

上記のとおり相違ないことを証明します。

平成 年 月 日

_____ 中 学 校 校 長 氏 名 _____ [印]

和歌山県立高等学校入学志願者健康診断票

氏名		性別		平成 昭和	年	月	日生	
視力	右	()						
	左	()						
聴力	右							
	左							
結核性疾患	判定	A ₁	A ₂	B ₁	B ₂	C ₁	C ₂	D ₃
心臓の疾病及び異常								
尿								
その他の疾病及び異常								
主な既往症								
医師の所見								
<p>上記のとおり相違ないことを証明する。</p> <p style="text-align: center;">平成 年 月 日</p> <p style="text-align: center;">医 療 機 関 名</p> <p style="text-align: center;">医 師 名 ⑩</p>								

(注) 結核性疾患欄の記入については、学校保健安全法施行規則別表第1に示されている指導区分に該当する判定を選択すること。

Ⅲ 平成22年度和歌山県立高等学校入学志願者 調査書等の作成について

1 調査書の作成

平成 22 年度和歌山県立高等学校入学志願者調査書（以下「調査書」という。）のうち、「志願者」、「各教科等の学習の記録」、「欠席等の状況」、「特別活動に関する特記事項」及び「校内外の活動等に関する特記事項」欄は、「中学校生徒指導要録」の記載事項に基づき記入すること。また、「健康の状況に関する特記事項」欄は、平成 22 年 3 月中学校又はこれに準ずる学校（以下「中学校」という。）卒業見込みの入学志願者に限り記入することとし、生徒健康診断票（歯の検査票を含む。）の記載事項に基づき記入するほか、次の事項に留意して作成すること。

なお、調査書の作成の期日については、平成 22 年 2 月 10 日（水）現在とする。

- (1) 受検番号は高等学校において記入すること。
- (2) 記入責任者は、原則として当該生徒の学級担任とすること。
- (3) 「志願者」の欄について
 - ア「性別」欄は、男女の別を記入すること。
 - イ「生徒成績一覧表の番号」欄は、当該志願者の番号を記入すること。
（例えば、2 組 18 番であれば、2 - 18 とすること。）
 - ウ「卒業」欄の卒業見込み、卒業の別は、該当するものを○で囲むこと。
 - エ「編入学・転入学」欄の編入学、転入学の別は、該当するものを○で囲むこと。
- (4) 「各教科等の学習の記録」の欄について
 - ア「観点別学習状況」欄は、「中学校生徒指導要録」に記載されている評価の「A」及び「C」を記入し、「B」の場合は空欄とすること。ただし、第 3 学年の記入については、平成 22 年 2 月 10 日（水）現在における評価をすること。
なお、各教科の①、②、③、④及び⑤の欄は、文部科学省から示された「中学校生徒指導要録」の様式に記載されている順序による観点の項目とする。
 - イ「評定」欄について
第 1・第 2 学年については、「中学校生徒指導要録」に記載されている各教科の 5 段階評定を記入すること。
また、第 3 学年については、平成 22 年 2 月 10 日（水）現在での 5 段階評定を記入すること。
 - ウ「評定合計」欄について
各学年ごとに全教科の評定を合計して記入すること。
 - エ「選択教科の評定」欄について
第 1・第 2 学年については、「中学校生徒指導要録」に記載されている教科の評定を記入することとし、第 3 学年については、平成 22 年 2 月 10 日（水）現在での「A」、「B」及び「C」の 3 段階の評定を記入すること。
- (5) 「総合的な学習の時間の記録」欄について
各学校において作成された評価の観点に基づき、生徒のよい点や進歩の状況などを踏まえ、生徒にどのような力が身に付いたかを文章で記載すること。

- (6) 「欠席等の状況」欄について
ア「第3学年」欄は、平成22年2月10日（水）現在で記入すること。
イ「備考」欄には、主な欠席理由とその日数について記入すること。
- (7) 「健康状況に関する特記事項」欄について
志願者の健康の状況に関して特に配慮すべきことがある場合のみ、具体的に記入すること。
特に記入事項のない場合には、斜線を引くこと（以下(8)、(9)も同様）。
- (8) 「特別活動に関する特記事項」欄について
顕著な特徴が見られる場合、生徒の長所に着目して、その事実について具体的に記入すること。
- (9) 「校内外の活動等に関する特記事項」欄について
部活動等、ボランティア活動等及び資格・特技等に関し、その事実について具体的に記入すること。
ア「部活動等」欄について
部活動における活動状況について、その事実について具体的に記入すること。
[記載例]
・軟式野球部のエースとして、☆☆主催〇〇大会で3位入賞の原動力となる。
・吹奏楽部員として□□大会に出場
・〇〇市展書道部門で特選
・△△主催全国絵画コンクールで銀賞
イ「ボランティア活動等」欄について
ボランティア活動及び善行等について、その事実を具体的に記入すること。
[記載例]
・養護老人ホームを定期的に訪問し、老人介護に尽くしたことにより、社会福祉団体から感謝状を受けた。
ウ「資格・特技等」欄について
各種公的団体等によって段級位等の資格を受けた者及びそれに準ずる特技のある者について、具体的に記入すること。
[記載例]
・柔道初段、全珠連珠算2段、英語検定3級、ギターの演奏
- (10) 「総合所見」欄について
入学者選抜及び高校教育を受けるにあたって特に配慮を要すること、並びに生徒の将来の進路に対する希望等について、生徒の優れている点や長所、進歩の状況などを積極的に評価し、総合的に記入すること。
- (11) 中学校長は、「中学校生徒指導要録」及び「生徒健康診断票」の記載事項と照合するなどして、調査書の記入事項が事実と相違ないことを確認のうえ、証明すること。

2 生徒成績一覧表の作成

生徒成績一覧表は、第3学年の生徒全員について学級単位で、次の事項に留意して平成22年2月10日（水）現在で作成すること。

- (1) には総学級数のうち何組目かわかるように記すこと。例えば、3学級あり、そのうち2組目であるならば 2/3 と記入する。

- (2) 「番号」欄には、学級の生徒全員の通し番号を記入すること。
- (3) 「教科」の各欄には、学級の生徒全員の第3学年の評定を記入すること。
- (4) 「志願先」欄には、当該学科の出願者のみ○を付けること。
- (5) スポーツ推薦出願者の「備考」欄には、「スポーツ」と記入すること。

Ⅳ 他の都道府県からの高等学校入学志願者等 に関する手続について

1 他の都道府県（以下「他府県」という。）から和歌山県立高等学校を志願する者の手続について

(1) 和歌山県立高等学校全日制課程の志願者

ア 他府県から和歌山県立高等学校全日制課程に入学を志願する者で、次の（ア）から（ウ）のいずれかに該当するものは、県教育委員会の許可を受けなければならない。

（ア）本人及び保護者の住所が和歌山県内にあるか、入学日までに和歌山県内に居住が確実な者

（イ）隣接他府県に居住する者で、和歌山県立高等学校以外の高等学校の所在地が著しく遠隔で、通学が困難であると認められる者

（ウ）居住する他府県の高等学校に志望する学科が設置されていない場合で、その住所から和歌山県内の高等学校に通学できる者

イ 申請手続

（ア）該当者は、和歌山県立高等学校進学許可願（別記第1号様式）に特別事情を証明する書類を添えて、平成22年1月6日（水）から平成22年1月29日（金）までに（県）学校教育局学校指導課長に提出しなければならない。

（イ）特別事情を証明する書類は、別表のとおりとする。

ウ 覚書等による協定区域内に在住の志願者については、上記イの申請手続は要しない。ただし、別に通知する出願手続によること。

(2) 和歌山県立高等学校全日制課程4分校への志願者の特例

ア 次に示す高等学校を志願する者は、前号によることなく他府県から出願することができる。

※大成高等学校美里分校 有田中央高等学校清水分校
日高高等学校中津分校 南部高等学校龍神分校

イ 特例による入学者数

各校の募集定員に対する割合は次のとおりとする。

学 校 名	学科名	全国募集枠 (募集定員に対する割合)
※大成高等学校美里分校	普通科	10 %程度
有田中央高等学校清水分校	普通科	10 %程度
日高高等学校中津分校	普通科	30 %程度
南部高等学校龍神分校	普通科	10 %程度

ウ 申請手続

該当者は、証明書（別記第2号様式）を出願時に提出書類に添付し、当該高等学校長に提出すること。

※ 大成高等学校美里分校は、平成22年4月に海南高等学校美里分校に校名変更の予定。

(3) 和歌山県立高等学校定時制課程の志願者

他府県から和歌山県立高等学校定時制課程に入学を志願する者は、和歌山県内に居住又は勤務することを証明する資料（事業主雇用証明書等）を入学願提出の際に添付し、入学志願先高等学校長

の許可を受けなければならない。

2 海外から和歌山県立高等学校を志願する者の手続について

海外に居住し、和歌山県立高等学校に入学を志願する者は、入学日までに和歌山県内に居住が確実に、県教育委員会の許可を受けた者でなければならない。

該当者は、次に示す書類を、平成 22 年 1 月 6 日（水）から平成 22 年 1 月 29 日（金）までに（県）学校教育局学校指導課長に提出しなければならない。

- (1) 和歌山県立高等学校進学許可願（別記第 1 号様式）
- (2) 海外に居住することを証明する書類（日本大使館発行の居留証明書等）
- (3) 特別事情を証明する書類は、別表のとおりとする。

3 他府県の公立高等学校を志願する者の手続について

- (1) 本県内中学校卒業生（平成 22 年 3 月卒業見込みの者を含む。）で他府県の公立高等学校に入学を志願する者は、他府県の指定する様式による申請書を、当該他府県（市町村）教育委員会（以下「志願先府県等」という。）に提出しなければならない。

なお、それぞれの志願先府県等の規定について、あらかじめ問い合わせるなど、期日に遅れることのないよう留意すること。

- (2) 前号の事情具申のため、本県に願い出を必要とする場合は、志願先府県等に対する願い出を（県）学校教育局学校指導課長に提出するものとする。

4 留意事項

- (1) 別記様式については、（県）学校教育局学校指導課において交付する。
- (2) 申請書提出にあたっては、次のことに留意するものとする。
 - ア 申請書は、保護者又はこれに代わる者が直接持参するものとする。ただし、他府県からの志願者等、申請時の住所が著しく遠隔地にある場合は、（県）学校教育局学校指導課長の許可を得て、郵送とすることができる。
 - イ 審査結果の連絡のため、返信用封筒（長形 3 号にあて先を明記し、90 円切手をはること。）を必ず添付するものとする。
- (3) 許可された申請者には、許可願の写しに許可印を押印して返還するので、志願先高等学校に入学願を提出する際に必ず添付すること。
- (4) 申請期間以後の保護者の転勤等、特別な事情が生じた場合は、（県）学校教育局学校指導課長と協議することができる。
- (5) 他府県からの志願者で中学校長から高等学校長に提出する調査書等については、「I 平成 22 年度和歌山県立高等学校入学者選抜（全日制課程・定時制課程）実施要項」第 1 第 6 項によるものとする。ただし、生徒成績一覧表については、当該都道府県の定める書類をもって代えることができる。

別表（第1項、第2項関係）

特別事情の内容		必 要 書 類
1	転住による場合	(1) 現住所の住民票謄本 (2) 次のいずれかの書類 ア 公営住宅、公社社宅等の場合は、入居決定通知書（写） 又は転住できることの住宅管理者の証明等 イ 借家の場合は、家主との賃貸契約書（写）等 ウ 家屋新築の場合は、建築確認申請書（許可印押印のもの（写））及び建築工事施工契約書（写） エ 家屋購入の場合は、売買契約書（写）等 オ 保護者の転勤等による転住の場合は、転勤先の転勤証明 又はこれに代わる営業許可書（写）等
2	両親が別居しており、和歌山県内にいる親と同居する場合	(1) 現在同居している親の住民票謄本と和歌山県内の親の住民票謄本 (2) 両親と本人の続柄が分かる戸籍抄本又は記載事項証明書
3	養子縁組による場合	(1) 養子縁組が証明される戸籍抄本、もしくは記載事項証明書 又は家庭裁判所の許可証明書 (2) 実父母又は養親の住民票謄本
4	両親と死別等のため、和歌山県内の両親以外の者と同居する者	(1) 両親、親族等と本人の続柄の分かる戸籍謄本、抄本又は記載事項証明書 (2) 本人及び本人と同居する親族等の住民票謄本
5	前記1～4以外で特別の事情のある場合	前記1～4の必要書類の例に準じて、客観的に事情を証明する書類

(注) 上記1～4については、いずれも(1)及び(2)の書類を添付すること。

別記第1号様式（第1項、第2項関係）
（表）

和歌山県立高等学校進学許可願

平成 年 月 日

和歌山県教育委員会教育長 様

（ふりがな）

本人氏名

（本人署名）

平成 年 月 日生

保護者氏名

印

和歌山県立高等学校へ進学したいので、許可くださるよう関係書類を添えてお願いします。

記

1 本人の現住所

2 保護者の現住所

（連絡先 TEL（ ） — ）

3 本人と保護者との続柄

4 出身又は在学中学校名

別記第1号様式（第1項、第2項関係）

（裏）

5 特別事情に関する説明（和歌山県に在住する理由等がわかるように具体的に書くこと。）

・進学後の住所

6 中学校長等副申

平成 年 月 日

中学校名

校長氏名

印

上記の願いについては、その事情が正当なものと認めます。

平成 年 月 日

和歌山県教育委員会

教 育 長

印

証 明 書

平成 年 月 日

和歌山県立 高等学校長 様

中学校名 _____

校長氏名 _____ 印

下記の者は、平成22年度和歌山県立高等学校入学者選抜における志願にあたっては、
貴校以外のいかなる公立高等学校にも出願しないことを証明します。

記

1 志願者氏名

2 生年月日 平成 年 月 日

3 住 所

(注) 出願の際、志願先高等学校長に提出すること。

V 和歌山県立高等学校入学者選抜学力検査等に係る帰国生徒取扱い要綱

1 定 義

「帰国生徒」とは、日本国籍を有する者で、海外に所在する機関、事業所等に勤務するか又は海外において研究・研修を行うこと等を目的として日本を出国し、海外に在留していた者又は現在なお在留している者の子ども等で、原則として引き続き2年を超える期間海外に在留していた子どもをいう。

2 取 扱 い

- (1) 上記の帰国生徒にあたる者で、本人のもつ能力が十分発揮されていないと考えられる相当の根拠のある者については、出身中学校長は、協議書（別記第1号様式）を作成し、志願先高等学校長あて親展で原則として平成22年2月1日（月）までに提出すること。
- (2) 高等学校長は、出身中学校長からの協議書を検討したうえで、受検協議書（別記第2号様式）を作成し、（県）学校教育局学校指導課長あてに、原則として、平成22年2月8日（月）までに提出すること。
- (3) （県）学校教育局学校指導課長が承認した場合、当該高等学校長は、入学者選抜学力検査の成績等を勘案し、募集定員を超えて入学を許可することができる。

3 対 象 者

この要綱は、帰国した日から原則として2年以内に和歌山県立高等学校入学者選抜に係る学力検査等を受検する帰国生徒に適用する。

附 則

この要綱は、昭和63年2月1日から実施する。

附 則

この要綱は、昭和63年10月22日から実施する。

附 則

この要綱は、平成14年8月13日から実施する。

附 則

この要綱は、平成17年8月8日から実施する。

附 則

この要綱は、平成18年9月1日から実施する。

附 則

この要綱は、平成21年8月11日から実施する。

平成22年度和歌山県立高等学校入学志願者協議書

平成 年 月 日

和歌山県立 高等学校長 様

中学校名 _____

校長氏名 _____ 

志願者氏名 平成 年 月 日生（性別 ）

志願学科（コース等）名

上記の者を、下記の理由により「和歌山県立高等学校入学者選抜学力検査等に係る
帰国生徒取扱い要綱」に基づく受検生として承認して下さるようお願いいたします。

記

（本人のもつ能力が十分発揮されていないと考えられる理由、指導措置及び現在の
状況等を記入すること。）

平成22年度和歌山県立高等学校入学志願者受検協議書

平成 年 月 日

（県）学校教育局学校指導課長 様

高等学校名 _____

校長氏名 _____ 印

志願者氏名 _____ 平成 年 月 日生（性別 ）

出身中学校 _____

志願学科（コース等）名 _____

上記の者を、下記の理由により「和歌山県立高等学校入学者選抜学力検査等に係る
帰国生徒取扱い要綱」に基づく受検生として承認してよろしいか、お伺いします。

記

（本人のもつ能力が十分発揮されていないと考えられる理由、指導措置及び現在の状況等を記入すること。）

VI 和歌山県立高等学校入学者選抜学力検査得点 の簡易開示について

和歌山県個人情報保護条例（平成 14 年和歌山県条例第 66 号）第 25 条に基づく、開示請求の特例に関する事務取扱要領（平成 15 年 5 月 26 日 教育長決定）により、次のとおり実施する。

1 開示する内容

- (1) 一般選抜における学力検査の教科別得点及び合計得点
- (2) スポーツ推薦における学力検査の教科別得点及び合計得点
- (3) 追募集及び再学力検査における学力検査の得点

2 開示請求できる者

受検者本人

3 開示請求の受付期間及び受付時間

- (1) 受付期間
合格発表の翌日から起算して 1 月間
- (2) 受付時間
全日制課程は午前 9 時から午後 4 時まで、定時制課程は午後 2 時から午後 6 時まで。ただし、土曜日、日曜日、祝日及び学校の休日を除く。
なお、電話又は郵送による開示請求は受け付けない。

4 開示請求及び開示の場所

受検した県立高等学校

5 本人確認のため提示を求める書類

- (1) 受検票
- (2) 出身中学校生徒手帳（中学校において生徒個人の写真を貼付し、割印されたものに限る。）、健康保険証等（健康保険、国民健康保険又は船員保険等の被保険者証、共済組合員証）本人であることを証明する書類

6 開示方法

請求を受けた高等学校長は、受検者本人であることを確認したうえ、請求のあった個人情報を、開示する内容を転記した書面の交付により即時に開示する。

Ⅶ 別 表

(別表 1 ~ 7)

(その1)

平成22年度和歌山県立高等学校入学選抜選考基準

(全日制)

学校名	学科名 (コース等)	求める生徒像	割合					
			調査書		学力検査		面接・実技検査等	
			割合	傾斜 評価	割合	傾斜 配点	割合	内容
橋本	普通科	進路への明確な意欲を持ち、積極的に何事にも取り組む態度を身につけており、向学心が旺盛である生徒を募集します。	40%		60%			
	◇普通科(県立中)							
紀北工業	機械科	「ものづくり」に必要な知識や技術を学びます。真面目で意欲的に取り組む生徒を募集します。	40%		60%			
	電気科	職業資格・メカトロニクスなどの分野に興味・関心を強く持ち、真面目に意欲的に取り組む生徒を募集します。	40%		60%			
	システム化学科	職業資格・化学研究・コンピュータ分野に興味・関心を強く持ち、真面目に意欲的に取り組む生徒を募集します。	40%		60%			
伊都	普通科	単位制のシステムを活用し、自らの進路希望実現のため、学習活動や特別活動に意欲的に取り組む生徒を募集します。	50%	音2.0 美2.0 保体2.0 技家2.0	50%			
	生産流通科	農産物の加工や利用及び流通に興味を持ち、積極的に学習や実験・実習に取り組み、地域に貢献しようとする意欲に満ちた生徒を募集します。	30%		40%		30%	
紀北農芸	施設園芸科	園芸作物の栽培、植物の機能や仕組みに興味を持ち、積極的に学習や実習に取り組み、農業に貢献しようとする意欲に満ちた生徒を募集します。	30%		40%		30%	
	環境工学科	機械コースでは環境に配慮した「ものづくり」、土木コースでは自然に優しく快適な環境の創造に興味を持ち、積極的に学習や実習に取り組む意欲に満ちた生徒を募集します。	30%		40%		30%	
	普通科	学習意欲が高く、自らの進路目標に意欲的に取り組み、学習活動、部活動、ボランティア活動などに積極的に取り組む生徒を募集します。	40%		50%		10%	
笠田	総合ビジネス科	商業の基礎・基本から専門的な知識・技能の習得まで幅広く学習します。検定や資格の取得を目指しながら、学習活動、部活動、ボランティア活動などに積極的に取り組む生徒を募集します。	50%		40%		10%	
	情報処理科	商業科目の学習をベースに、情報をより総合的に処理する能力の育成を目指します。検定や資格の取得を目指しながら、学習活動、部活動、ボランティア活動などに積極的に取り組む生徒を募集します。	50%		40%		10%	

平成22年度和歌山県立高等学校入学者選抜選考基準

(その2)

学校名	学科名 (コース等)	求める生徒像	割合					
			調査書		学力検査		面接・実技検査等	
			割合	傾斜 評価	割合	傾斜 配点	割合	内容
粉河	普通科	基本的な生活習慣が確立しており、学習、特別活動、学校行事等何事にも意欲的に取り組み、それを将来に生かせる生徒を募集します。	30%		70%			
	理数科	理数系科目が得意で、自然科学に対する興味・関心が高く、将来理数系大学への進学を希望する生徒を募集します。	30%		70%	数1.5 英1.5		
那賀	普通科	学習意欲が高く、部活動等にも意欲的に励み、より高度な学問・研究や専門性の高い職業を将来の目標にし、大学等への進学を目指す生徒を募集します。	40%		60%			
	国際科	学習意欲が高く、部活動等にも意欲的に励み、国際社会の様々な分野で活躍することを将来の目標にし、大学等への進学を目指す生徒を募集します。	40%		60%	国1.5 英1.5		
貴志川	普通科	生活態度・学習態度が良好で、部活動等に意欲的に励み、積極的に学習に取り組む生徒を募集します。	30%		50%		20%	面
	人間科学科	人と人とのつながりに関わる分野に関心を持ち、意欲的に学習に取り組む、将来大学等への進学を目指す生徒を募集します。	30%		60%	事前申告1教科2.0	10%	面
和歌山西	普通科	基本的な生活習慣が身につけており、本校での学習意欲が旺盛な生徒を募集します。	40%	英2.0 美2.0 保健2.0 技家2.0	40%		20%	面
	普通科	本校が設置する多様な選択科目の中から、自らの進路目標に基づき、積極的に学んでいこうという意欲がある生徒や、文化部、体育部活動や学習活動、生徒会活動、奉仕活動等で優れた実績やリーダー性を有し、入学後も活動する意欲がある生徒を募集します。	50%		50%			※1
和歌山北	体育科	体育部活動において顕著な実績があり、3年間活動する意欲がある生徒を募集します。	30%		30%		40%	面・実
	総合学科	総合学科に強い関心を持ち、本校で自分を伸ばしたいと思っている生徒を募集します。	30%		40%	最も高い1教科2.0	30%	PP
和歌山	普通科	意欲的に学ぶ姿勢と明確な進路目標を持ち、その実現のために積極的に努力する生徒を募集します。また、生徒会活動、部活動、奉仕活動等で優れた実績を持ち、入学後も活発に活動する生徒を望みます。	30%		70%	国1.5 数1.5 英1.5		
	◇環境科学科	歴史や文化等、社会・人文科学に興味・関心が高く、卒業後は国公立大学等の文系学部への進学を目指し、その実現のために積極的に努力する生徒を募集します。また、生徒会活動、部活動、奉仕活動等で優れた実績を持ち、入学後も活発に活動する生徒を望みます。	30%		70%	国1.5 数1.5 英1.5		
向陽	文化科学科	歴史や文化等、社会・人文科学に興味・関心が高く、卒業後は国公立大学等の文系学部への進学を目指し、その実現のために積極的に努力する生徒を募集します。また、生徒会活動、部活動、奉仕活動等で優れた実績を持ち、入学後も活発に活動する生徒を望みます。	30%		70%	国1.5 数1.5 英1.5		

平成22年度和歌山県立高等学校入学者選抜選考基準

(その3)

学校名	学科名 (コース等)	求める生徒像	割合					
			調査書		学力検査		面接・実技検査等	
			割合	傾斜 評価	割合	傾斜 配点	割合	内容
桐 蔭	普通科	各自の個性を伸長させ、文武両道の実現を目指して、確かな学力を身につけようとする意欲ある生徒を募集します。	40%		60%	国1.2 数1.2 英1.2		
	◇普通科 (県立中)							
和 歌 山	数理科学科	自然科学の領域に強い関心を持ち、国公立大学理系学部等への進学を考え、将来社会で活躍できる生徒を募集します。	40%		60%	数1.5 英1.5		
	普通科	基本的な生活習慣や基礎学力が身につけており、積極的に自らの進路目標に向かって学ぼうとする意志のある生徒を募集します。 また、生徒会活動や部活動に積極的に取り組もうとする意欲のある生徒を望みます。	40%		40%		20%	面
星 林	普通科	学習意欲が高く、自らの進路目標に基づき、積極的に学んでいこうという意欲がある生徒を募集します。	30%		70%			
	国際交流科	学習意欲が高く、国際化時代に対応する進路を希望し、国際理解教育に関心のある生徒を募集します。	30%		70%			
和 歌 山 工 業	機械科	機械の製作や操作をするための知識や技術の習得に興味・関心を持つ意欲的な生徒を募集します。	30%		40%	数1.3 理1.3	30%	面
	電気科	電気・電子及び情報通信の分野に興味があり、将来その方面で活躍したい生徒を募集します。	30%		40%	数1.3 理1.3	30%	面
	化学技術科	実験、実習に興味があり、化学的知識や技術について学び、「地球に優しいものづくり」に取り組もうとする生徒を募集します。	30%		40%	数1.3 理1.3	30%	面
	建築科	建築に興味があり、建築物についての設計・設備、工事の進め方等について意欲的に学ぼうとする生徒を募集します。	30%		40%	数1.3 理1.3	30%	面
和 歌 山 工 業	土木科	道路、橋、防波堤、空港、上下水道などを建設する土木の学習に興味を持ち、人々の生活の向上に役立ちたいと思っている生徒を募集します。	30%		40%	数1.3 理1.3	30%	面
	産業デザイン科	デザイン全般についての知識・技能、「ものづくり」に興味・関心があり、意欲的に学ぼうとする生徒を募集します。	30%		40%	数1.3 理1.3	30%	実
	創造技術科	「ものづくり」に必要な知識・技能を学び、創意工夫をこらし、新しい時代に対応した「ものづくり」に挑戦しようとする意欲ある生徒を募集します。	30%		40%	数1.3 理1.3	30%	面

平成22年度和歌山県立高等学校入学者選抜選考基準

(その4)

学校名	学科名 (コース等)	求める生徒像	割合					
			調査書		学力検査		面接・実技検査等	
			割合	傾斜 評価	割合	傾斜 配点	割合	内容
和歌山商業	ビジネス創造科	商業教育に興味・関心があり、2年次以降のコース(情報・会計・ビジネス総合・ビジネス教養)を主体的に選び、専門的な学習を深め、資格取得や専門知識を就職・進学に生かす目標がある生徒を募集します。 また、部活動において優れた資質・能力を有し、人格形成に取り組み、本校全体に活力を与える生徒を募集します。	50%		50%			
	普通科(海南校舎)	学習意欲が高く、本学科の学習内容に興味・関心、適性があり、入学後も積極的に学んでいこうとする意志が明確である生徒を募集します。	30%		70%			
海南	教養理学科(海南校舎)	学習意欲が高く、本学科の学習内容、特に理数系科目に興味・関心、適性があり、入学後も積極的に学んでいこうとする意志が明確である生徒を募集します。	30%		70%	数1.5 理1.5		
	普通科(大成校舎)	卒業後の進路に具体的な目標を持ち、大成校舎の教育課程を理解し、積極的に学習に取り組み生徒を募集します。	40%		40%		20%	面
※2大成(美里分校)	普通科	美里分校の特色ある学習活動を理解し、入学後も積極的に学んでいこうという強い意志のある生徒を募集します。	30%		40%		30%	面
	普通科(普通)	勉学・部活動に励み、自らの進路実現に向け積極的に取り組む生徒を募集します。	40%		60%			※1
箕高	普通科(スポーツ)	スポーツ専門種目に優れた能力を有し、3年間部活動を継続し、意欲的に運動能力を高め、学習にも積極的に取り組む生徒を募集します。	30%		30%		40%	実
	情報経営科	ビジネスの仕組みやコンピュータ操作に興味・関心があり、何事にも積極的に取り組むことのできる生徒を募集します。	45%		45%		10%	作※1
	機械科	機械に興味・関心があり、「ものづくり」に意欲的に取り組むことのできる生徒を募集します。	45%		45%		10%	面※1
有田中央	総合学科	総合学科の学習内容を理解し、学習に対する興味・関心・意欲が高く、生徒会活動や部活動等に実績を有し、3年間積極的に取り組める生徒を募集します。	35%		35%		30%	面
	普通科	学校内外での様々な活動に主体的に取り組む、学習成績が良好であり、自らの進路目標にもとづき、積極的に学んでいこうという意欲がある生徒を募集します。	40%		60%			
耐久	普通科	学習意欲が高く、本校の学習内容や教育活動に興味・関心を持ち、自己の進路目標実現に向けて積極的に取り組む生徒を募集します。	40%		60%			
	普通科	明確な進路希望を持ち、学習に意欲的に取り組む生徒を募集します。	30%		70%			
日高	総合学科	意欲的に学ぶ姿勢を持ち、国公立大学等への進学を希望し、将来社会で活躍できる生徒を募集します。	30%		70%	国1.5 数1.5 英1.5		
	普通科	学習意欲が高く、本学の学習内容に興味・関心、適性があり、入学後も課外活動や特別活動等に積極的に取り組んでいこうとする意欲、意志が明確である生徒を募集します。	30%		50%		20%	面・PP

平成22年度和歌山県立高等学校入学選抜選考基準

(その5)

学校名	学科名 (コース等)	求める生徒像	割合					
			調査書		学力検査		面接・実技検査等	
			割合	傾斜 評価	割合	傾斜 配点	割合	内容
紀中央館	普通科	人々に信頼され、地域に貢献できる社会人となるため、人文・ビジネス・教養カルチャーの各系列で意欲的に学習に取り組む生徒を募集します。	30%		70%			
	工業技術科	人々に信頼され、地域に貢献できる社会人となるため、機械・電気の専門分野で、意欲的に学習に取り組む生徒を募集します。	30%		70%			
南	普通科	自らの進路に目標を持ち、何事にも意欲的・積極的に取り組める生徒を募集します。	50%		50%			
	生産技術科	食品加工・植物バイオテクノロジー・農薬や環境の分野に強い関心があり、将来は生産技術科の学習内容を生かした進路を考えている生徒で、実習や実験に真剣に取り組むことができる生徒を募集します。	40%		40%		20%	面
	園芸科	果樹、野菜、草花の栽培や経営に関して興味・関心があり、将来は園芸科の学習内容を生かした進路、農業自営を希望している生徒で、実習や実験に真剣に取り組むことができる生徒を募集します。	40%		40%		20%	面
	服飾デザイン科	被服製作やデザインなどの専門分野に興味・関心を持って積極的に実習や学習に取り組むことにより、意欲的に学校生活を送ることができる生徒を募集します。	40%		60%			
	普通科	本校の特色ある教育内容を良く理解し、入学後も積極的に学習に取り組み、人や自然を大切にし、人として社会に貢献しようとする生徒を募集します。	30%		70%			
田辺	普通科	学習成績が良好であり、様々な学習活動に積極的に取り組む意欲がある生徒を募集します。	30%		70%			
	◇自然科学科							
田辺工業	機械科	「ものづくり」の中心である機械の基本的な知識と技術を学び、誠実・勤勉で創造性豊かな工業人を目指す生徒を募集します。	50%		50%			
	電気電子科	電気に関連する分野に幅広く興味を持ち、知識・技術の習得及び各種資格の取得に意欲的な生徒を募集します。	50%		50%			
	情報システム科	コンピュータに関連する情報技術を学び、将来IT産業で活躍する希望を持ち、専門分野での学習に意欲的に取り組む生徒を募集します。	50%		50%			
神島	普通科	神島高校に入学する強い意志を持ち、常に向上心をもって、学習や部活動に真剣に取り組む生徒を募集します。	40%		60%			
	経営科学科	神島高校に入学する強い意志と専門教科に強い関心を持ち、将来の進路のために資格取得や実習に継続的に努力する生徒を募集します。	40%		60%			

平成22年度和歌山県立高等学校入学者選抜選考基準

(その6)

学校名	学科名 (コース等)	求める生徒像	割合					
			調査書		学力検査		面接・実技検査等	
			割合	傾斜 評価	割合	傾斜 配点	割合	内容
熊野	看護科	志望動機や意欲・関心が明確であり、看護師を目指して、5年間しっかりと学習に取り組む意志のある生徒を募集します。	30%		60%		10%	面
	総合学科	積極的に学ぼうとする意欲を持ち、部活動、学校行事及びボランティア活動や地域活動等にも積極的に取り組む生徒を募集します。 また、自分の考えをしっかりと持ち、自分で判断できる生徒を望みます。	40%		60%			※1
串本古座	普通科 (串本校舎)	基本的な生活習慣が身につけており、意欲的に学習に取り組む生徒を募集します。 また、文化・スポーツ活動等に意欲的に取り組み、自らの進路を積極的に切り開ける生徒を望みます。	40%		50%		10%	面
	国際教養科 (串本校舎)	異文化理解・国際理解に興味があり、国際的視野を持って自己の可能性を積極的に伸ばそうとする意欲のある生徒を募集します。 また、文系・理系を問わず大学進学を中心とした進路実現を目指す生徒を望みます。	30%		70%			
新宮	普通科 (古座校舎)	自らの進路目標を明確に持ち、その実現のために意欲的に学習に取り組むとともに、生徒会活動や奉仕活動、芸術・文化・体育等の分野で積極的に活動する生徒を募集します。	30%		50%		20%	面
	普通科	本気で学びたいという強い意志を持ち、積極的に学習や部活動に取り組む、将来大学等への進路実現を目指して自己の可能性に挑戦しようとする生徒を募集します。	30%		70%			国1.2 数1.2 英1.2
新翔	総合学科	総合学科の特徴を十分に理解した上で、各系列の学習に興味・関心を持ち、その学習に取り組むとともに、自己の進路実現に向かって努力する生徒や、部活動・生徒会活動等に積極的に取り組む生徒を募集します。	30%		60%		10%	面
	(定時制)							
紀の川	普通科 (昼間)	本校が開講する科目に関心を持ち、学習意欲旺盛で、また、勤労によっても自らの人格を向上させる意欲のある生徒を募集します。	60%		40%			
	普通科 (夜間)		30%		30%		40%	面・作
粉河	普通科 (夜間)	学習意欲に富み、勤労と学校生活を両立できる生徒を募集します。	30%		30%		40%	面
	普通科 (昼間)	生徒お互いを大切にし、学校生活を真面目に取り組む生徒を募集します。	30%		30%		40%	面
青陵	情報会計科 (夜間)	生徒お互いを大切にし、学校生活を真面目に取り組む、特に商業・コンピュータ等に興味・関心のある生徒を募集します。	30%		30%		40%	面
	機械電気科 (夜間)	機械電気科を志望する理由が明白であり、本校生徒として適切な学生生活を送る強い意志がある生徒を募集します。	30%		30%		40%	面・作
和歌山工業	建築科 (夜間)	建築科を志望する理由が明白であり、本校生徒として適切な学生生活を送る強い意志がある生徒を募集します。	30%		30%		40%	面・作

平成22年度和歌山県立高等学校入学者選抜選考基準

(その7)

学校名	学科名 (コース等)	求める生徒像	割合					
			調査書		学力検査		面接・実技検査等 割合	内容
			割合	傾斜 評価	割合	傾斜 配点		
※3海	南 普通科(夜間)	自ら学ぶ強い意志を持ち、新しい時代をたくましく生きる意欲のある生徒を募集します。	30%		30%		40%	面・作
耐	久 普通科(夜間)	基本的な生活習慣が身につけており、学ぶ意欲があつて規則を守る生徒を募集します。	30%		30%		40%	面
日	高 普通科(夜間)	基本的な生活習慣や基礎学力が身につけており、積極的に学んでいこうという意欲がある生徒を募集します。	30%		30%		40%	面・作
南	紀 普通科(昼間)	人や物を大切にすることを生徒で、学習意欲があり、生活態度が真面目である生徒を募集します。	40%		30%		30%	面
	(周 参見 分校) 普通科(夜間)	人や物を大切にすることを生徒で、学習意欲があり、生活態度が真面目である生徒を募集します。	40%		30%		30%	面
新	宮 普通科(夜間)	勤労と学校生活を両立させながら、真面目な生活態度で意欲的に学ぼうとする生徒を募集します。	50%		50%			

・割合は、一般選抜募集枠に対する割合を示す。

・傾斜評価、傾斜配点内の「国」「数」等は「国語」「数学」等を表し、その横の数字は、それぞれに対する倍率を表している。

・面接・実技等の「面」「作」「実」「実」はそれぞれ「面接」「作文」「実技検査」「パーソナルプレゼンテーション」を表す。面接・実技検査等の詳細は別表2に示す。

※1 和歌山北高等学校体育科、箕島高等学校普通科(スポーツコース)、熊野高等学校看護科を第2志望とする者は、各学科(コース)が実施する面接・実技検査等を受けること。

※2 大成高等学校美里分校は、平成22年4月に海南高等学校美里分校と校名変更の予定。

※3 本校及び下津分校

(注) ◇を付した学科については、それぞれの県立中学校からの進学者のみとし、県立高等学校入学者選抜による募集は行わない。

(その1)

平成22年度和歌山県立高等学校入学者選抜の面接・実技検査等

1 注意事項

- (1) 体育に関する実技検査を受検する者は、事前に医師の健康診断を受ける等、体育実技受検に支障のないよう健康管理に特に留意すること。
- (2) 体育に関する実技検査を受検する者は、体育実技のできる軽快な服装（各中学校指定の体操服等）を準備すること。
- (3) 体育着用及び屋外用の運動靴を準備すること。
- (4) 所持品管理のためのバッグ等を持参すること。
- (5) 面接・実技検査等に関する問い合わせは、実施校にすること。

2 一般選抜における面接・実技検査等の内容

学校名	学科名	面接・実技検査等	備考
紀北農芸	生産流通科	3人程度の集団面接を20分程度実施する。(基礎的な知識を問うこともある。)	
	施設園芸科	3人程度の集団面接を20分程度実施する。(基礎的な知識を問うこともある。)	
	環境工学科	3人程度の集団面接を20分程度実施する。(基礎的な知識を問うこともある。)	
笠田	普通科	個人面接を3分程度実施する。	
	総合ビジネス科	個人面接を3分程度実施する。	
	情報処理科	個人面接を3分程度実施する。	
貴志川	普通科	3人程度の集団面接を15分程度実施する。	
	人間科学科	3人程度の集団面接を15分程度実施する。傾斜配点の教科については、事前に1教科自己申告すること。	申告書提出
和歌山西	普通科	個人面接を5分程度実施する。	
		個人面接を5分程度実施する。	
和歌山北体育科	共通実技	① 50m走	申告書提出
		② ハントボール投げ	
	次の1.5競技から1競技選択し、各競技ともすべての種目を実施する。		
	陸上競技	① 背筋力測定	
		② 立ち幅とび	
		③ 100m走、1000m走、10000m走、走り幅とび、砲丸投げから1種目選択	
	体操	① 背筋力測定	
		② マット運動	
		③ 柔軟性・筋力	
	水泳	① 背筋力測定	
② 競泳			
③ 50m専門種目 200m個人メドレー			
専門実技	① トランポリン	スパイク不可	
	② 徒手体操		
	③ ミニゲーム(2対2)		
バスケットボール	① 背筋力測定		
	② ドリブルシュート		
	③ ミニゲーム(2対2)		
ソフトテニス	① 背筋力測定		申告書提出
	② 乱打(サーブからストローク)		
	③ 前衛(スマッシュ・ボレー)		
サッカー	① 背筋力測定		
	② 8の字ドリブル		
	③ ミニゲーム		

平成22年度和歌山県立高等学校入学者選抜の面接・実技検査等

(その2)

学校名	学科名	面接・実技検査等	備考			
和歌山北体育科		レスリング	① 背筋力測定 ② フットワーク ③ タックル			
		剣道	① 背筋力測定 ② 基本技能 ③ 切り返し			
		柔道	① 背筋力測定 ② 得意技によるかかり練習(打ち込み) ③ 得意技による投げ込み			
		バレーボール	① 背筋力測定 ② 対人レシーブ ③ スパイク			
		ラグビーフットボール	① 背筋力測定 ② パス ③ 1500m走			
		フェンシング	① 背筋力測定 ② フットワーク ③ 突き			
		ソフトボール	① 背筋力測定 ② バッテイング(雨天時は、素振り) ③ スローイング・キャッチング(雨天時は、キャッチボール)			
		自転車	① 背筋力測定 ② 自転車エルゴメーターによる筋力測定(最大無酸素パワー測定) ③ 自転車エルゴメーターによる筋力測定(有酸素運動能力測定)			
		ボート	① 背筋力測定 ② ローイングエルゴメーターによる測定を2種目			
		服装・携行品	専門実技に限り、必要となる服装(靴を含む)や用具の使用を認めるので、使用希望者は、各自持参すること。ただし、共通実技でのスパイク等の使用は認めない。			
		1	中学校で取り組んだ内容を中心として、自分の個性・能力・技術・意欲などを、自分で工夫した方法で表現・紹介し、自己PRする。 1 自己紹介・自己PRを含むパーソナルプレゼンテーション(7分以内) 2 面接 ※準備及び後片付けの時間はパーソナルプレゼンテーション(7分以内)の中に含まれる。 3分以内		申告書提出	
		和歌山総合学科	1 語学文化 自然科学		次の5つの分野から選択し、その分野の中の内容について発表する。 ○ 国語 ①自作の作品発表(詩・小説・物語・俳句・短歌・エッセーなど) ②暗唱朗読(百人一首・古典・詩など) ③国語に関する発表(作家や作品についてなど) ○ 英語 英語による発表(作文・スピーチなど) ○ 数学 ※国語・英語の発表において、自作の作品や作文の発表を行った場合は、手書きの原稿を発表後に提出すること。 ○ 理科 自分で設定した内容について発表する。 ○ 社会 自分で設定した内容について発表する。	
		2 商業 情報 工業 家庭	○ 商業 ①ワープロ、珠算、電卓等の実技披露 ※そろばん、電卓は各自持参すること。 ※あらかじめ作成した文書の提示も可能。 ②ワープロ作品等の発表 ※あらかじめ作成した文書の提示等を行う。 ○ 情報 パソコンを活用したこれまでの取組や作品等の発表 ○ 工業 作品を持参して製作過程を発表する。 ○ 家庭 これまでに取り組んできた過程とその成果(作品も含む)の発表(調理、被服、保育等) ※調理の実演はできない。			

平成22年度和歌山県立高等学校入学者選抜の面接・実技検査等

(その3)

学校名	学科名	面接・実技検査等	備考
和歌山	総合学科	○ 音楽 <ul style="list-style-type: none"> ①楽器演奏、歌唱の発表 <ul style="list-style-type: none"> ※演奏、歌唱については、独奏、独唱に限る。なお、単旋律の楽器では主旋律を演奏すること。 ※作曲作品の発表 <ul style="list-style-type: none"> ※自作の楽譜を持参すること。また、その作品を演奏してもよい。 ※①②において、ピアノ、エレキトーン (EL700, ELS-01) 及び打楽器類を演奏する時は美施設の楽器を使用すること。なお、コンピュータを使用した演奏は不可とする。 ※①②において、美施設の楽器を使用した実技披露 (毛筆・硬筆のどちらか) または自主製作した作品の発表作品を持参する場合は3点以上とする。毛筆の実技披露の場合は大筆・小筆のみ持参すること。 ※自分で設定した題材については実技披露 ※作品を持参する場合は中学3年間の授業、クラブ、自主制作作品の中から3点以上とする。 ※自分で題材を設定して実技を披露してもよい。 ※絵の具、筆等は各自持参すること。 ②「総合的な学習の時間」 中学校で取り組んだ「総合的な学習の時間」の内容を発表する。 	
		○ 書道	
		○ 美術	
		○ スポーツ <ul style="list-style-type: none"> ※得意スポーツや部活動の内容をビデオ・写真などを使って発表する。 ※検査場所での実技披露はできません。また、本人の確認がはつきりできないように撮影を工夫すること。 	
		○ 保健体育	
		○ 「総合的な学習の時間」	
		○ 特別活動	<ul style="list-style-type: none"> ※検査場所での実技披露はできないこと。『和歌山高校で学びたいこと』『和歌山高校で伸ばしたい私の個性』『将来の夢』など ○ その他 <ul style="list-style-type: none"> ※作文は手書きとし、発表後に提出すること。
注意事項	<ol style="list-style-type: none"> 1 発表する分野において、級・段・表彰等の実績がある場合は、出願時に提出する申告書の備考欄に実績を記入すること。 2 なお、賞状などは持参して発表時に使用してもよい。 3 準備及び後片付けの時間はパーソナルプレゼンテーション (7分以内) の中に含まれる。 4 パーソナルプレゼンテーション時は、発表用原稿を使用してもよい。 5 実技披露の場合、実技だけの発表にしなければならないようにすること。必ず取組の過程等を説明するなど、自分で工夫した方法で自己PRすること。 6 美施設のパソコンを使用する場合は次の点に注意すること。 <ul style="list-style-type: none"> ※美施設のパソコンは、OS - Windows XP, ソフト - Microsoft Office XP (2002) である。 ※インターネットへの接続及びプリンタの使用はできない。 7 プロジェクタ及びびスクリーンが必要な場合は申告書に記載すること。(テレビモニタでの再生となります) 		
和歌山 東	普通科	個人面接を10分程度実施する。	
和歌山 工業	機械科	個人面接 (口頭による検査を含む。) を10分程度実施する。	
	電気科	個人面接 (口頭による検査を含む。) を10分程度実施する。	
	化学技術科	個人面接 (口頭による検査を含む。) を10分程度実施する。	
	建築科	個人面接 (口頭による検査を含む。) を10分程度実施する。	
	土木科	個人面接 (口頭による検査を含む。) を10分程度実施する。	
	産業デザイン科	造形 60分で粘土とアルミ線を使った作品を製作する。	
	創造技術科	個人面接 (口頭による検査を含む。) を10分程度実施する。	
海 南	普通科 (大成校舎)	個人面接を7分程度実施する。	
※ 大成 (美里分校)	普通科	3人程度の集団面接を15分程度実施する。	

平成22年度和歌山県立高等学校入学者選抜の面接・実技検査等

(その4)

学校名	学科名	面接・実技検査等		備考
箕 島	普通科 (スポーツ)	次の11競技から1競技選択し、各競技とも共通実技と専門実技のすべての種目を実施する。	共通実技	申告書提出
		競技名	専門実技	
		ソフトボール	① キャッチボール ② ティーバットティング (雨天時は体育館)	
		ホッケー	① ドリブルシュート ② ボールリフティング (雨天時は体育館)	
		剣道	① 切り返し ② 互格稽古	
		空手道	① 組手に必要な技 ② 試合形式の組手	
		硬式野球 (男子のみ)	① 立ち幅とび ② ハンドボール投げ (雨天時は体育館)	
		バレーボール (女子のみ)	① パス ② サーブ	
		フェンシング	① フットワーク ② ターゲット突き	
		陸上競技	① 立ち幅とび ② ハンドボール投げ (雨天時は体育館)	
		バスケットボール (女子のみ)	① ドリブル (1対1の攻防) ② シュート	
		柔道	① 打ち込み ② 投げ込み	
		相撲 (男子のみ)	① 四股 ② 押し	
			服装・携行品：各専門種目に応じ、必要となる服装(靴を含む。)や用具の使用を認めるので、使用希望者は、各自持参すること。	
		情報経営科		50分で6000字程度の作文を実施する。
機械科		3人程度の集団面接を15分程度実施する。		
有 田 中 央	総合学科		個人面接を5分～7分程度実施する。	
日 (中 津 分 校)	高 普通科	○ P P (パーソナルプレゼンテーション) 生徒会活動、文化活動、奉仕活動等の文化的活動に関する分野、又は、スポーツ活動に関する分野のうち、いずれかを選択し、発表する。 ○ 面接 3人程度の集団面接を10分程度実施する。		申告書提出
		中学校において、意欲的に取り組んだ生徒会活動や文化活動、奉仕活動、学習活動などを自分で工夫した方法で表現・紹介するとともに、自己PRをする。 ※ コンピュータやVTR等、モニタ装置や投影装置は使用できません。 ※ 発表時間は7分程度とする。 ※ 発表は受検生1人で行う内容とし、発表用原稿の使用は認めない。 運動能力(ソフボール投げ、50m走、懸垂)で自己PRを行う。 ※ スパイクの使用は認めない。 ※ 雨天等で、グラウンドが使用できない場合は、体育館における握力(握力の測定、反復横とび、20mシャトルラン)の種目に、全て又は一部変更する。 ※ 発表は受検生1人で行う内容とする。		発表内容の概要及び試験場に持ち込む道具等は、あらかじめ申告書にて申請すること。 体育実技のできる服装、体育館用及び屋外用の運動靴、防寒着、雨具(小雨決行)を各自準備すること。

平成22年度和歌山県立高等学校入学者選抜の面接・実技検査等

(その5)

学校名	学科名	面接・実技検査等	備考
南	生産技術科	3人程度の集団面接を15分～20分程度実施する。(基礎的な知識を問うこともある。)	
	園芸科	3人程度の集団面接を15分～20分程度実施する。(基礎的な知識を問うこともある。)	
熊	看護科	個人面接を10分程度実施する。	
	普通科(串本校舎)	個人面接を8分程度実施する。	
串本古座	普通科(古座校舎)	個人面接を10分程度実施する。	
	総合学科	4人程度の集団面接を10分程度実施する。	

【定時制】

学校名	学科名	面接・実技検査等	備考
粉	普通科(夜間)	50分で6000字程度の作文と、個人面接を10分程度実施する。	
	普通科(昼間)	個人面接を10分程度実施する。	
青	普通科(夜間)	個人面接を10分程度実施する。	
	情報会計科(夜間)	個人面接を10分程度実施する。	
和歌山工業	機械電気科(夜間)	50分で6000字程度の作文と、個人面接を10分程度実施する。	
	建築科(夜間)	50分で6000字程度の作文と、個人面接を10分程度実施する。	
海	普通科(夜間)	50分で6000字程度の作文と、個人面接を10分程度実施する。	
	普通科(夜間)	個人面接を10分程度実施する。	
耐	普通科(夜間)	50分で7000字程度の作文と、個人面接を10分程度実施する。	
	普通科(夜間)	個人面接を10分程度実施する。	
南	普通科(昼間)	個人面接を10分程度実施する。	
	普通科(夜間)	個人面接を10分程度実施する。	
(周参見分校)	普通科(夜間)	個人面接を10分程度実施する。	

※ 大成高等学校美里分校は、平成22年4月に海南高等学校美里分校と校名変更の予定。

3. 追募集における実技検査の内容

【全日制】

学校名	学科名	実技検査	備考
和歌山北	体育科	次の3つの種目を全員に共通して実施する。 1 50m走 2 ハンドボール投げ 3 背筋力測定	
	普通科(ボニー)	一般選抜実技検査等に準ずる。	申告書提出

平成22年度和歌山県立高等学校入学者選抜のスポーツ推薦実施校及び指定競技スポーツ等

1 実施校及び指定競技スポーツ

学 校 名	競 技 ス ポ ー ツ 名	備 考
紀 北 工 業	剣道	
	レスリング	
	自転車	男子のみ
	ウエイトリフティング	
紀 北 農 芸	ハンドボール	男子のみ
笠 田	陸上競技	
	ソフトボール	女子のみ
粉 河	ソフトテニス	女子のみ
	ハンドボール	女子のみ
	陸上競技	
和 歌 山 北 (普通科のみ)	体操	
	水泳	
	バスケットボール	
	バレーボール	
	ソフトテニス	
	サッカー	男子のみ
	ソフトボール	女子のみ
	レスリング	男子のみ
	自転車	男子のみ
	フェンシング	
	和 歌 山	柔道
和 歌 山 東	剣道	
	レスリング	男子のみ
	フェンシング	
和 歌 山 工 業	陸上競技	男子のみ
	体操	
	バスケットボール	男子のみ
	卓球	男子のみ
	サッカー	男子のみ
	ラグビーフットボール	男子のみ
	剣道	
	レスリング	男子のみ
	ボクシング	男子のみ
	ウエイトリフティング	男子のみ
和 歌 山 商 業	陸上競技	
	バレーボール	女子のみ
	卓球	
	ソフトテニス	女子のみ
	ハンドボール	
	相撲	男子のみ
	ホッケー	女子のみ
	テニス	
箕 島	バレーボール	女子のみ
	ソフトボール	男子のみ
	相撲	男子のみ
	柔道	
	剣道	
	ホッケー	男子のみ
	フェンシング	
紀 央 館 田 辺 工 業	柔道	女子のみ
	体操	男子のみ
熊 野 (総合学科のみ)	バレーボール	女子のみ
	ラグビーフットボール	男子のみ
	ソフトボール	女子のみ
	柔道	
串 本 古 座 (串本校舎のみ)	空手道	
	サッカー	男子のみ
	柔道	
新 翔	陸上競技	
	空手道	
	カヌー	
合 計 1 5 校	6 2 競技スポーツ	

(注) 備考の空欄は、男子と女子を問わない募集を表す。

2 募集枠

1 競技スポーツあたり5名程度(男女の指定のない場合は、男女計5名程度)とし、募集枠内とする。ただし、複数の学科がある場合は、すべての学科を合わせたものとする。

平成22年度和歌山県立高等学校入学者選抜のスポーツ推薦出願条件

学校名	競技スポーツ	出 願 条 件
紀北工業	剣道	特別活動及び校内外の活動等において優れた点が見られ、学習意欲が旺盛で生活態度が良好であること。また、入学後も指定競技スポーツにおいてリーダーとしての活動が期待でき、3年間継続して活動する意志のある者。
	レスリング	
	自転車	
	ウエイトリフティング	
紀北農芸	ハンドボール	本校のハンドボール部において、3年間継続して活動する意欲のある者で、次の(1)～(4)のいずれかの条件を満たす者。ただし、スポーツの競技名は問わない。 (1) 中学単独チームとして、県大会以上の大会においてレギュラーポジションで活躍した者。 (2) 個人競技として、県大会以上に出場して活躍した者。 (3) 郡選抜・市選抜で県大会以上、又は県選抜で近畿大会以上の大会に出場した者。 (4) 上記(1)～(3)に該当しないが、当該中学校長がそれに準ずると判断した者。
笠田	陸上競技	当該競技スポーツに係る優れた運動能力と技術を有し、3年間継続して活動する強い意志をもち、さらに、希望する学科で学ぶ基礎学力を有する者。
	ソフトボール	
粉河	ソフトテニス	当該競技スポーツにおいて優れた能力を有し、3年間継続して学習と部活動の両立を実践する意欲のある者。
	ハンドボール	
和歌山北 (普通科)	陸上競技	全国大会、近畿大会やそれに準ずる大会に出場した実績を有するなど、当該競技スポーツにおいて優れた資質・能力を有し、3年間継続して活動する意欲のある者。
	体操	
	水泳	当該競技スポーツにおいて優れた実績を持つ者、又は、優れた能力をもち将来性の感じられる生徒で、3年間継続して活動する意欲のある者。
	バスケットボール	全国大会、近畿大会やそれに準ずる大会に出場した実績を有するなど、当該競技スポーツにおいて優れた能力を有し、3年間継続して活動する意欲のある者。
	バレーボール	
	ソフトテニス	県の代表として全国大会やそれに準ずる大会に出場した実績を有するなど、当該競技スポーツにおいて、優れた能力を有し、3年間継続して活動する意欲のある者。
	サッカー	当該競技スポーツにおいて優れた能力を有し、3年間継続して活動する意欲のある者。
	ソフトボール	
レスリング		
自転車		
フェンシング	当該競技スポーツの潜在的な能力を有し、将来、全国大会で活躍することを目標として、3年間継続して活動する意欲のある者。	
和歌山	柔道	県の代表として、全国大会やそれに準ずる大会に出場した実績を有するなど、当該競技スポーツにおいて、優れた能力を有するとともに、3年間継続して活動する意欲のある者。
和歌山東	剣道	優れた技術・運動能力を有し、入学後も指定競技スポーツにおいてリーダーとしての活動が期待でき、3年間継続して活動する意欲のある者。
	レスリング	
	フェンシング	
和歌山工業	陸上競技	当該競技スポーツにおいて優れた能力を有し、3年間継続して活動する意欲のある者。
	体操	
	バスケットボール	当該競技スポーツの優れた能力を有し、3年間真面目に取り組む意欲のある者。
	卓球	全国大会やブロック大会に出場した者、又は、それに準ずる能力を有する者で、3年間継続して活動する意欲のある者。
	サッカー	当該競技スポーツにおいて優れた能力を有し、3年間継続して活動する意欲のある者。
	ラグビーフットボール	優れた技術・運動能力を有し、当該競技スポーツにおいて3年間継続して活動する意欲があり、リーダーとしての活動が期待できる者。
	剣道	当該競技スポーツにおいて優れた能力を有し、3年間継続して活動する意欲のある者。
	レスリング	優れた技術・運動能力を有し、入学後も当該競技スポーツにおいて、3年間継続して活動する意欲のある者。
	ボクシング	優れた技術・運動能力を有し、3年間真面目に取り組む意欲のある者。
ウエイトリフティング	基礎体力に優れた能力を有し、当該競技スポーツにおいて3年間継続して活動する意欲のある者。	

(その2)

学校名	競技スポーツ	出 願 条 件
和歌山商業	陸上競技	運動部活動において、顕著な実績があるか、又は優れた技術・運動能力を有する者で、当該競技スポーツにおいて、3年間継続して活動する意欲のある者。また、競技活動のみならず学習意欲をもち、勉学との両立を目指し自己の成長に努める者。
	バレーボール	クラブ活動を3年間継続する意欲のある者。または、運動部活動において優れた能力・技術を有する者。競技活動のみならず学習意欲をもち勉学との両立を目指し自己の成長に努める者。
	卓球	当該競技スポーツにおいて優れた能力を有するとともに、3年間継続して活動する意欲のある者。また、学習意欲をもち、学習と部活動との両立を目指し、自己の成長に努める者。
	ソフトテニス	運動部活動において、顕著な実績があるか、又は優れた技術・運動能力を有する者で、入学後も指定競技スポーツにおいて、3年間継続して活動する意欲のある者。また、競技活動のみならず学習意欲をもち、勉学との両立を目指し自己の成長に努める者。
	ハンドボール	当該競技スポーツにおいて顕著な実績があるか、又は優れた技術・運動能力を有する者で、3年間継続して活動する意欲のある者。また、競技活動のみならず学習意欲をもち勉学との両立を目指し自己の成長に努める者。
	相撲	和歌山県の代表として、全国大会やそれに準ずる大会に出場した実績を持ち、当該競技スポーツの優れた能力を有し、3年間継続して活動する意欲のある者。また、本校入学後は、競技活動のみならず、学習意欲をもち勉学との両立を目指し、自己の成長に努める者。
	ホッケー	ホッケー競技に興味関心があり、必要な運動能力を有するとともに3年間継続して活動できる者。また、競技活動のみならず学習意欲をもち勉学との両立を目指し自己の成長に努める者。
	テニス	当該競技の優れた能力を有し、3年間継続して活動する意欲のある者。また、本校入学後は競技活動のみならず、学習意欲をもち勉学との両立を目指し、自己の成長に努める者。
箕 島	バレーボール	優れた運動能力を有し、当該競技スポーツにおいて3年間継続して活動を行い、全国大会やそれに準ずる大会への出場を目指す意欲のある者。
	ソフトボール	優れた運動能力を有し、当該競技スポーツにおいて3年間継続して活動する意欲のある者。
	相撲	当該競技スポーツに適性があり、3年間継続して活動する意欲のある者。
	柔道	県の代表として、全国大会やそれに準ずる大会に出場した実績を有するなど、当該競技スポーツにおいて優れた能力を有するとともに、3年間継続して活動する意欲のある者。
	剣道	当該競技スポーツに適性があり、3年間継続して活動する意欲のある者。県大会で、個人又は団体戦で入賞したことがある者もしくは二段を取得している者。
	ホッケー	優れた運動能力を有し、当該競技スポーツにおいて3年間継続して活動する意欲のある者。
	フェンシング	優れた運動能力を有し、当該競技スポーツにおいて3年間継続して活動を行い、全国大会やそれに準ずる大会への出場を目指す意欲のある者。
	空手道	県の代表として、全国大会やそれに準ずる大会に出場した実績を有する者。又は、当該競技スポーツに適性があり、3年間継続して活動する意欲のある者。
紀 央 館	柔道	県大会、又はそれに準ずる大会の個人、団体戦において優れた実績を有し、人物的にも優秀であること。また、当該競技スポーツにおいて、3年間継続して活動する意欲のある者。
田 辺 工 業	体操	優れた運動能力・技術を有し、当該競技スポーツにおいてリーダーとしての活動が期待でき、3年間継続して活動する意欲のある者。
熊 野 (総合学科)	バレーボール	当該競技スポーツにおいて顕著な実績があるか、又は優れた技術・運動能力を有するとともにリーダーとしての活動が期待でき、3年間継続して活動する意欲のある者。
	ラグビーフットボール	
	ソフトボール	
	柔道	
	空手道	
串 本 古 座 (串本校舎)	サッカー	全国大会やそれに準ずる大会に出場した実績を有するなど、当該競技スポーツにおいて優れた能力を有するとともに、3年間継続して活動する意欲のある者。
	柔道	
新 翔	陸上競技	県大会やそれに準ずる大会に出場した実績を有するなど、当該競技スポーツの優れた能力を有し、陸上競技に関して、興味・関心・意欲があり、入学後も記録の向上はもとより、学校生活に積極的に参加することが期待でき、3年間継続して活動する意志のある者。
	空手道	空手道に関して、興味・関心・意欲があり、礼節を重んじ、入学後も技術の向上はもとより、学校生活に積極的に参加することが期待でき、3年間継続して活動する意志のある者。
	カヌー	カヌー競技に関して、興味・関心・意欲があり、入学後も技術の向上はもとより、学校生活に積極的に参加することが期待でき、3年間継続して活動する意志のある者。

(その1)

平成22年度和歌山県立高等学校入学者選抜のスポーツ推薦におけるスポーツ実技検査等

1 注意事項

- (1) 事前に医師の健康診断を受ける等、体育実技受験に支障のないよう健康管理に特に留意すること。
- (2) 体育実技のできる軽快な服装（各中学校指定の体操服等）を準備すること。
- (3) 体育館用及び屋外用の運動靴を準備すること。
- (4) 所持品管理のためのバッグ等を持参すること。
- (5) 実技検査に関する問い合わせは、実技検査実施校にすること。

2 実技検査等

学校名	競技スポーツ名	性別	検査項目		備考
			共通実技	種目別実技	
紀北工業	剣道			① 踏み込み足 上下振り	面接を実施
	レスリング		① 50m走 (雨天時は反復横とび) ② ハンドボール投げ (雨天時は握力)	① タックル ② 投げわざ	面接を実施
	自転車	男子のみ		① 固定ローラー ② 800m走 (雨天時は腕立て伏せ)	面接を実施 短パン
	ウエイトリフティング			① ハイクリーン ② スクワット	面接を実施
紀北農芸	ハンドボール	男子のみ	① フリーアツプ ② ハンドボール投げ ③ 反復横とび	① パス〜キヤッチ ② パスゲーム	面接を実施
	陸上競技		① 50m走 (雨天時は反復横とび) ② ハンドボール投げ (雨天時は握力)	① 立ち幅とび ② 100m走、1000m走、砲丸投げから1種目選択 (雨天時、100m走、砲丸投げを希望した者は20m走、1000m走を希望した者は20mシャトルラン。)	面接を実施 専用の専用シューズ(スパイク等)は使用可能
笠田	ソフトボール	女子のみ		① 守備(投手はピッチング) ② 打撃(バントを含む) (雨天時は体育館)	面接を実施 専用のグラブ、バット、スパイクは使用可能
	ソフトテニス	女子のみ	① 50m走 (雨天時は20mシャトルラン) ② 反復横とび	① グラウンドストローク ② 前衛:ボレー、スマッシュ 後衛:1本打ち(フォアハンド、バックハンド) (雨天時は体育館)	面接を実施 ラケット テニスシューズ
粉河	ハンドボール	女子のみ		① ドリブルシュート ② パスキヤッチ・ランニングパス (雨天時は体育館)	面接を実施
	陸上競技			① 背筋力測定 ② 立ち幅とび ③ ⑥より1種目選択 ④ 1000m走 (雨天時はテニスコートで実施) ⑤ 100m走 (雨天時はテニスコートで60m走) ⑥ 走り幅とび 砲丸投げ	面接を実施 スパイク不可
和歌山(普通科)	体操		① 50m走 ② ハンドボール投げ	① 背筋力測定 ② マット運動 ③ 柔軟性・筋力	面接を実施
	水泳			① 背筋力測定 ② 50m専門種目 ③ 200m個人メドレー 飛込 ② トランポリン ③ 徒手体操	面接を実施

平成22年度和歌山県立高等学校入学者選抜のスポーツ推薦におけるスポーツ実技検査等

学校名	競技スポーツ名	性別	検査項目		備考
			共通実技	種目別実技	
和歌山県立(普通科)北山高等学校	バスケットボール			① 背筋力測定 ドリブルシュート ミニゲーム (2対2) ② ③ ① 背筋力測定 対人レシンプ ② ③	面接を実施
	バレーボール			① 背筋力測定 乱打(サーブからストローク) 前衛:スマッシュ、ボレー 後衛:1本打ち(ベースラインからストローク) ② ③	面接を実施
	ソフトテニス			① 背筋力測定 8の字ドリブル ミニゲーム ② ③	面接を実施
	サッカー	男子のみ	① 50m走 ② ハンドボール投げ	① 背筋力測定 ハットイング(雨天時は素振り) スローイング・キヤッチング(雨天時はキヤッチボール) ② ③	面接を実施
	ソフトボール	女子のみ		① 背筋力測定 フットワーク タックル ② ③	面接を実施
	レスリング	男子のみ		① 背筋力測定 自転車エルゴメーターによる筋力測定 ② 最大無酸素パワー測定 ③ 有酸素運動能力測定 ④	面接を実施
	自転車	男子のみ		① 背筋力測定 フットワーク 突き ② ③	面接を実施
	フェンシング			① 受け身 かかり練習(打込み) 自由練習(乱取り) ② ③ ④	面接を実施
	山 柔道	男子のみ	① 握力 ② 上体起こし	① 素振り(上下・正面・跳躍) 切り返し、基本技能(面、小手、小手一面、胴)、掛かり稽古 ② ③ ④	柔道着 剣道防具一式 竹刀
	和歌山 剣道			① 50m走 (雨天時は立ち幅とび) ②	面接を実施
和歌山 東山工業高等学校	レスリング	男子のみ	① 50m走 立ち幅とび	① 反復横とび 上体起こし ② ③	面接を実施
	フェンシング			① 反復横とび 上体起こし ② ③	面接を実施
	陸上競技	男子のみ	① 50m走 立ち幅とび	① 立ち五段とび(雨天時は垂直とび) 助走付き30m走(トップスビードを測定)、1000m走から 1種目選択(雨天時は20mシャトルラン) ② ③	面接を実施
	体操		① 50m走 ② 反復横とび	① マット運動 補助台上での胸つり ② ③	面接を実施
和歌山 工業高等学校	バスケットボール	男子のみ	① 20mシャトルラン ② 反復横とび	① ドリブル(1対1の攻防) シュート ② ③	面接を実施
	卓球	男子のみ	① 立ち幅とび ② 反復横とび	① ラリー等(フォアハンド、バックハンド) ゲーム ② ③	ラケット 面接を実施
	サッカー	男子のみ	① 50m走 ② 反復横とび	① リフティング・パスアンドコントロール ② 1000m走(雨天時はシャトルラン) ③	面接を実施

平成22年度和歌山県立高等学校入学者選抜のスポーツ推薦におけるスポーツ実技検査等

学校名	競技スポーツ名	性別	検査項目		準備物	備考
			共通実技	種目別実技		
和歌山工業	ラグビーフットボール	男子のみ		①ランニングパス ②ミニゲーム (雨天時は体育館)		面接を実施
	剣道		① 50m走 ② 反復横とび	① 切り返し ② 面・小手・胴の基本技、応じ技 ③ 試合 ④ マット運動 ⑤ タックル	剣道防具一式 竹刀	面接を実施
	レスリング	男子のみ				面接を実施
	ボクシング	男子のみ	① 1500m持久走 ② 50m走	① シヤドボクシング(3分×2ラウンド) ② 縄とび(3分×2ラウンド)		面接を実施
	ウエイトリフティング	男子のみ	① 50m走 ② 握力	① ドリフト ② スクワット ③ ベンチプレス		面接を実施
	陸上競技			① 1000m走、1000m走、砲丸投げから1種目選択 (雨天時は、1000mを希望した者は30m走、1000m走を希望した者はシャトルラン、砲丸投げを希望した者はメデインボール投げ。)	アップシューズ スパイク(自由)	
	バレーボール	女子のみ		① パス(アンダーパス、オーバーパス) ② レシーブ(対人レシーブ) ③ スパイク(ライト・センター・レフト)		
	卓球			① サーブレシーブ ② 試合(シングルス)	ラケット	
	ソフトテニス	女子のみ		① グラウンドストローク(フォアハンド、バックハンド) ② サーブ ③ コート半面でのシングルスゲーム	ラケット テニスシューズ	
	ハンドボール			① ハンドボール投げ ② ジャンプシュート、キープイング(キープ) (雨天時はいずれも体育館で一部を実施)		
相撲	男子のみ		① 押し、ぶつかり稽古 ② 試合	まわし		
ホッケー	女子のみ		① ドリブルシュート ② リフティング (雨天時はいずれも体育館で一部を実施)	アップシューズ		
テニス			① グラウンドストローク ② ミニゲーム (雨天時は体育館)	ラケット テニスシューズ		
和歌山商業	バレーボール	女子のみ	① 50m走 ② 反復横とび	① サーブ ② パス ③ キャッチボール ④ ティーバウティング (雨天時は体育館)		
	ソフトボール	男子のみ		① 四股 ② 押し ③ 打ち込み ④ 投げ込み		
	相撲	男子のみ	① 握力 ② 長座体前屈			
	柔道				柔道着	
	剣道		① 50m走 ② 反復横とび	① 切り返し ② 互格稽古	剣道防具一式 竹刀	
和歌山島	バレーボール	女子のみ				
	ソフトボール	男子のみ				

平成22年度和歌山県立高等学校入学者選抜のスポーツ推薦におけるスポーツ実技検査等

学校名	競技スポーツ名	性別	検査項目		備考
			共通実技	種目別実技	
箕 島	ホッケー	男子のみ		① ドリブルシュート ② ボールリフティング (雨天時は体育館)	
	フェンシング		① 50m走 ② 反復横とび	① フットワーク ② ターゲット突き	
	空手道			① 組手に必要な技 ② 試合形式の組手	空手道着 防具
紀 央 館	柔道	女子のみ	① 反復横とび ② 握力	① 受け身 ② 打ち込み ③ 固め技	柔道着 面接を実施
田 辺 工 業 体 操		男子のみ	① 長座体前屈 ② 立ち幅とび	① 側立歩行 ② 側転	
	バレーボール	女子のみ		① サーブ、パス ② レシーブ、スパイク (アタッカーのみ)	面接を実施
熊 野 (総 合 学 科)	ラグビーフットボール	男子のみ		① 20m走、背筋力より1種目選択 ② タックル、パス、キックより1種目選択	面接を実施
	ソフトボール	女子のみ	① 反復横とび ② 立ち幅とび	① キャッチボール ② ピッチングまたはノックの捕球・送球 ③ ロングテイク (雨天時は体育館)	面接を実施
	柔道			① 打ち込み、投げ込み ② 寝技	柔道着 面接を実施
	空手道			① 基本技 ② 打ち込み	面接を実施
	サッカー	男子のみ	① 50m走 (雨天時は反復横とび) ② 立ち幅とび	① 8の字ドリブル ② ミニゲーム (雨天時は体育館)	面接を実施
串 本 古 座 (串 本 校 舎)	柔道		① 50m走 (雨天時は反復横とび) ② 握力	① かかり練習 (打ち込み) ② 自由練習 (乱取り)	面接を実施
	陸上競技			① 100m走 (雨天時は上体起こし)	面接を実施
新 翔	空手道		① 反復横とび ② 立ち幅とび	① 基本 (突き、蹴り) ② ラダートレーニング	面接を実施
	カヌー			① パドルを使ってのパドリング ② パドリングマガシンを使ってのパドリング	面接を実施

(注) 性別の空欄は、男子と女子を問わない募集を表す。

平成 22 年度連携型中高一貫教育校の特別選抜実施方法等

学校名	実施方法	備 考
星 林	ポートフォリオ 適性検査、面接	1 提出書類 ・志願理由書 ・学習及び出欠の記録 ・中学校における「総合的な学習の時間」に関するポートフォリオ及びその要約 2 適性検査 ・国語、数学、英語 ・時間 50分 3 面接 志願理由書及び提出資料の内容など15分程度の個人面接
南 部 (龍神分校)	作文、面接	1 作文：600字程度、50分 ※ 作文の内容については、事前に次の3項目について中学校へ提示する。 当日、その中から2項目についてそれぞれ具体的な作文題目を提示する。 受検生はその2つの題目から1つを選択し、作文にまとめる。 ・中学校生活に関すること ・自分の将来に関すること ・高校生活に関すること 2 面接 10分程度の個人面接
串 本 古 座 (古座校舎)	課題レポート 適性検査、面接	1 課題レポートの事前提出 ・テーマ：「総合的な学習の時間（地域学）で学んだこと」 （個人別のタイトルは自由） ・字 数：1000字～1500字 ・提出日時：平成22年1月18日(月) 9：00～15：00 2 適性検査 ・国語、数学、英語の基礎・基本 ・時間 50分 3 面接 課題レポートの内容、中学校生活及び本校進学 の目的意識など10分程度の個人面接

(その1)

平成22年度和歌山県立高等学校入学者選抜の学校別実施概要（追募集）

(全日制)

学校名	学科名 (コース等)	追 募 集 検 査 内 容				
		学力 検査	面接	作文または小論文		実技
橋 本	普通科	○	○			
	普通科 (県立中)					
紀 北 工 業	機械科	○	○			
	電気科	○	○			
	システム化学科	○	○			
伊 都	普通科	○	○			
紀 北 農 芸	生産流通科	○	○	作文	50分	800字程度
	施設園芸科	○	○	作文	50分	800字程度
	環境工学科	○	○	作文	50分	800字程度
笠 田	普通科	○	○			
	総合ビジネス科	○	○			
	情報処理科	○	○			
粉 河	普通科	○	○			
	理数科	○	○			
那 賀	普通科	○	○			
	国際科	○	○			
貴 志 川	普通科	○	○			
	人間科学科	○	○			
和 歌 山 西	普通科	○	○			
和 歌 山 北	普通科	○	○			
	体育科	○	○			運動能力に関する基礎実技(注)
和 歌 山	総合学科	○	○			
向 陽	普通科	○	○	作文	20分	400字程度
	環境科学科					
	文化科学科	○	○	作文	20分	400字程度
桐 蔭	普通科	○	○			
	普通科 (県立中)					
	数理科学科	○	○			
和 歌 山 東	普通科	○	○			
星 林	普通科	○	○			
	国際交流科	○	○			
和 歌 山 工 業	機械科	○	○			
	電気科	○	○			
	化学技術科	○	○			
	建築科	○	○			
	土木科	○	○			
	産業デザイン科	○	○			
	創造技術科	○	○			
和 歌 山 商 業	ビジネス創造科	○	○			
海 南	普通科 (海南校舎)	○	○			
	教養理学科 (海南校舎)	○	○			
	普通科 (大成校舎)	○	○			
※1 大 成 (美里分校)	普通科	○	○	作文	30分	300字程度
箕 島	普通科 (普通)	○	○			
	普通科 (スポーツ)	○	○			運動能力検査 (注)
	情報経営科	○	○	作文	50分	600字程度
	機械科	○	○			
有 田 中 央 (清水分校)	総合学科	○	○			
	普通科	○	○			

(その2)

平成22年度和歌山県立高等学校入学者選抜の学校別実施概要（追募集）

学校名	学科名 (コース等)	追 募 集					
		検 査 内 容					
		学力 検査	面接	作文または小論文			実技
耐 久 日 高 (中津分校)	普通科	○	○				
	普通科	○	○				
	総合科学科	○	○				
紀 央 館	普通科	○	○				
	工業技術科	○	○				
南 部 (龍神分校)	普通科	○	○				
	生産技術科	○	○				
	園芸科	○	○				
	服飾デザイン科	○	○				
田 辺	普通科	○	○	作文	50分	600字程度	
	自然科学科	○	○				
田 辺 工 業	機械科	○	○	作文	60分	600字程度	
	電気電子科	○	○	作文	60分	600字程度	
	情報システム科	○	○	作文	60分	600字程度	
神 島	普通科	○	○				
	経営科学科	○	○				
熊 野	看護科	○	○				
	総合学科	○	○				
串 本 古 座	普通科（串本校舎）	○	○				
	国際教養科（串本校舎）	○	○				
	普通科（古座校舎）	○	○				
新 宮	普通科	○	○				
新 翔	総合学科	○	○				

(定時制)

紀 の 川	普通科（昼間）	○	○	作文	50分	600字程度	
	普通科（夜間）						
粉 河	普通科（夜間）	○	○	作文	50分	600字程度	
青 陵	普通科（昼間）	○	○				
	普通科（夜間）						
	情報会計科（夜間）						
和 歌 山 工 業	機械電気科（夜間）	○	○	作文	50分	600字程度	
	建築科（夜間）	○	○	作文	50分	600字程度	
※2 海 南	普通科（夜間）	○	○	作文	40分	400字程度	
耐 久 日 高	普通科（夜間）	○	○				
南 紀	普通科（夜間）	○	○	作文	50分	700字程度	
	普通科（昼間）	○	○	作文	40分	600字程度	
普通科（夜間）							
(周 参 見 分 校)	普通科（夜間）	○	○	作文	40分	600字程度	
新 宮	普通科（夜間）	○	○				

(注) 和歌山北高等学校体育科、箕島高等学校普通科（スポーツコース）を第2志望とする者は、それぞれ別表2の実技検査を受けること。

※1 大成高等学校美里分校は、平成22年4月に海南高等学校美里分校と校名変更の予定。

※2 本校及び下津分校

平成22年度和歌山県立高等学校入学者選抜日程表

1 全日制の課程・定時制の課程

(1) 特別選抜

事 項	期 日 (期 限)	備 考
出 願 受 付	平成22年2月4日(木) 午後3時まで	出願先高等学校で受付(注)
面 接 等	平成22年2月9日(火)	出願先高等学校で実施
合格内定通知	平成22年2月16日(火) 午前10時	出願先高等学校で実施

(2) 一般選抜・スポーツ推薦

事 項	期 日 (期 限)	備 考
一般出願受付	平成22年2月22日(月) 午後4時まで 2月23日(火) 午後3時まで	出願先高等学校で受付(注)
本出願受付	平成22年3月2日(火) 午後4時まで 3月3日(水) 午後3時まで	出願先高等学校で受付(注)
学力検査等	平成22年3月10日(水)	出願先高等学校で実施
面接・実技検査等	平成22年3月11日(木)	出願先高等学校で実施
合 格 発 表	平成22年3月18日(木) 午前10時	出願先高等学校で実施

(3) 追募集

事 項	期 日 (期 限)	備 考
出 願 受 付	平成22年3月24日(水) 午後4時まで	出願先高等学校で受付(注)
学力検査等	平成22年3月26日(金)	出願先高等学校で実施
合 格 発 表	平成22年3月30日(火) 午前10時	出願先高等学校で実施

2 通信制の課程

事 項	期 日 (期 限)	備 考
出 願 受 付	平成22年3月1日(月)～3月31日(水)午後3時まで	出願先高等学校で受付 (出願前に電話等で問い合わせること)
	やむを得ない事情と高等学校長が認めた場合は、平成22年4月9日(金)まで受付	
調 査 書 等	平成22年3月1日(月)～3月31日(水)午後3時まで (4月以降に出願を受け付けた者については、その都度適宜提出)	出願先高等学校に提出
合 格 発 表	平成22年4月7日(水)までに合格者に対し通知書を発送 (4月9日まで受け付けた者については、出願受付後10日以内に通知書を発送)	出願先高等学校から合格者に通知

3 入学資格認定検査 (通信制課程を除く。)

事 項	期 日 (期 限)	備 考
出 願 受 付	平成22年2月2日(火)正午まで	志願先高等学校で受付(注)
認 定 検 査	平成22年2月8日(月)	志願先高等学校で実施
結 果 通 知	検査終了後志願者に文書で通知	志願先高等学校から志願者に通知

4 他の都道府県からの高等学校入学志願者等に関する手続

事 項	期 日 (期 限)	備 考
申 請 手 続	平成22年1月6日(水)～1月29日(金)	申請方法、必要書類等については、(県)学校教育局学校指導課に電話等で問い合わせること

5 「帰国生徒」の高等学校入学志願者に関する手続

事 項	期 日 (期 限)	備 考
申 請 手 続	平成22年2月1日(月)まで	出身中学校長から志願先高等学校長に申請
	平成22年2月8日(月)まで	志願先高等学校長から(県)学校教育局学校指導課に申請

(注) 全日制課程において、分枝に志願する者はそれぞれの分枝に、海南高等学校と串本古座高等学校への志願者については、それぞれの校舎に出願すること。

平成22年度和歌山県立高等学校入学者選抜関係日程

1 月		2 月		3 月	
日	曜	日	曜	日	曜
1	金	1	月	1	月
2	土	2	火	2	火
3	日	3	水	3	水
4	月	4	木	4	木
5	火	5	金	5	金
6	水	6	土	6	土
7	木	7	日	7	日
8	金	8	月	8	月
9	土	9	火	9	火
10	日	10	水	10	水
11	月	11	木	11	木
12	火	12	金	12	金
13	水	13	土	13	土
14	木	14	日	14	日
15	金	15	月	15	月
16	土	16	火	16	火
17	日	17	水	17	水
18	月	18	木	18	木
19	火	19	金	19	金
20	水	20	土	20	土
21	木	21	日	21	日
22	金	22	月	22	月
23	土	23	火	23	火
24	日	24	水	24	水
25	月	25	木	25	木
26	火	26	金	26	金
27	水	27	土	27	土
28	木	28	日	28	日
29	金			29	月
30	土			30	火
31	日			31	水

〔入学者選抜実施要項についての問い合わせ先〕

和歌山県教育庁学校教育局学校指導課

〒640-8585 和歌山市小松原通一丁目1番地

TEL (073) 441 - 3662

FAX (073) 441 - 3652

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/500100/>